

各機関からの議題及び報告事項

【報告事項】

- 新潟労働局
 - ・ 職場定着に関する取り組み P1
 - ・ 「若者応援宣言企業」及び「若者雇用促進法に基づく認定制度」について P26
- 新潟大学
 - ・ 工学部建設学科1年生対象講義「社会基盤工学概論」における「社会基盤工学分野で働く女性技術者による座談会」 P33
- 新潟県立新潟工業高等学校
 - ・ 県立新潟工業高校のキャリア教育の取組 P34
- 新潟県教育庁高等学校教育課
 - ・ 平成27年度県立専門高校メッセについて P37
- (一社)新潟県測量設計業協会
 - ・ 測量特番「ふるさとを守り、未来を創る ～測量士の仕事と役割～」のテレビ放映及び活用について P47
- 長岡工業高等専門学校
 - ・ JSC00P (Job Search for local companies based Cooperative education) P52
- 北陸地方整備局
 - ・ 現場見学後のアンケート調査について P54

【提案議題】

- 北陸地方整備局
 - ・ 建設界の役割や仕事の魅力を効果的に伝えるためのポイントについて P57
- (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
 - ・ 「北陸建設界の担い手確保・育成協議会」として連携した広報活動について P58

平成28年 2月 2日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(新潟県部会)

報告事項

機関名・団体名：新潟労働局

<p>件名</p> <p>職場定着に関する取り組み</p>
<p>要旨</p> <p>○「新規高等学校卒業就職者の意識調査」の実施</p> <p>平成 27 年 5 月～6 月にかけて、平成 27 年 3 月新規高等学校卒業生で県内就職を対象に実施した。アンケートについては、就職先企業経由でアンケート用紙を配付してもらい、就職者自身が記入し返信用封筒を活用し直接労働局へ送付してもらっている。</p> <p>結果については、別添のとおり結果を集計し、生徒指導及び職場定着指導等の参考資料として活用している。</p> <p>また、アンケート用紙には、在職中であっても県内ハローワークで相談できる旨を記載しており、相談を希望している者については、ハローワークから連絡（場合によっては就職先を訪問）し相談を実施している。</p> <p>○「しごと応援カード」の配付</p> <p>別添「しごと応援カード」を各ハローワークで作成し、新規学卒及び 35 歳未満の就職者を対象に、就職後であっても職場での悩み等仕事に関することであれば、県内ハローワークで幅広く相談できることを積極的に周知し、安易な離職に繋がらないよう取り組んでいる。</p>

新規高等学校卒業就職者の意識調査

平成 27 年 3 月新規高等学校卒業就職者（県内）の
職場適応状況調査

新潟労働局職業安定部

目 次

第1部 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査対象者	1
3	調査期間	1
4	調査内容	1
5	調査方法	1
6	調査票の回収状況	1
7	回収調査票の構成	2
8	調査結果の概要（対前年度比較）	2

第2部 調査の結果

質問1	今の会社を選ぶのに相談した相手はどなたですか？	5
質問2	今の会社を選んだ理由は何ですか？	5
質問3	在学中に今の会社の働く条件を確かめてから就職しましたか？	6
質問4	入社前に会社から会社の様子や入社的心得などについて連絡がありましたか？	7
質問5	入社後、会社の内容や仕事のことなどについて、教育や訓練などを受けましたか？	8
質問6	採用された時に労働条件を明記した文書(労働条件通知書・雇入れ通知書など)の交付を受けましたか？	9
質問7	今の職場の上司や先輩は仕事を親切に教えてくださいか？	9
質問8	今の職場で「困っていること」や「悩んでいること」はありませんか？	10
質問9	上司や先輩の中に「困っていること」や「悩んでいること」の相談にのってくれる人がいますか？	11
質問10	悩みがある(今後あった場合)、誰に相談したいと思いますか？	11
質問11	今の会社を選んで満足していますか？	12
質問12	今の会社に長く勤めたいと思いますか？	12
質問13	就職活動を進める時に参考となったこと	14
質問14	後輩への就職活動のアドバイス	16

【参考】 新社会人のアンケート用紙（新規高校卒業就職者用）

新規高等学校卒業就職者の意識調査

～平成27年3月新規高等学校（県内）就職者の職場適応状況調査結果～

第1部 調査の概要

1 調査の目的

新規高等学校卒業者の就職後における職場適応指導の一環として、アンケートにより職場適応の状況を把握し、職場定着に向けた問題点の解決を図るとともに、今後の就職前の職業指導に資することとする。

2 調査対象者

平成27年3月新規高等学校卒業で、新潟県内に就職した者

3 調査期間

平成27年5月中旬～6月上旬

4 調査内容

調査票の内容は別添のとおり

5 調査方法

郵送により就職先事業所に調査票を送付し、就職者が記入をした上で同封の返信用封筒により提出を求めた。

回収した調査票の内容により、職場適応指導等の問題を抱える者については、ハローワーク職員や学卒ジョブサポーターが事業所訪問等を実施し、就職者や事業主等に直接会う等の方法により相談・指導・援助を行い問題解決に努めた。

6 調査票の回収状況

単位：人（％）

区分 \ 項目	調査対象者数	調査回収率（％）
本年度計	3, 158	1, 456（46.1％）
前年計	3, 489	1, 618（46.4％）

7 回収調査票の構成

事業所の従業員数（規模）別にみた、集計対象回収調査票（就職者）の状況は次のとおりである。（会社規模未記入の調査票除く）

単位：人（％）

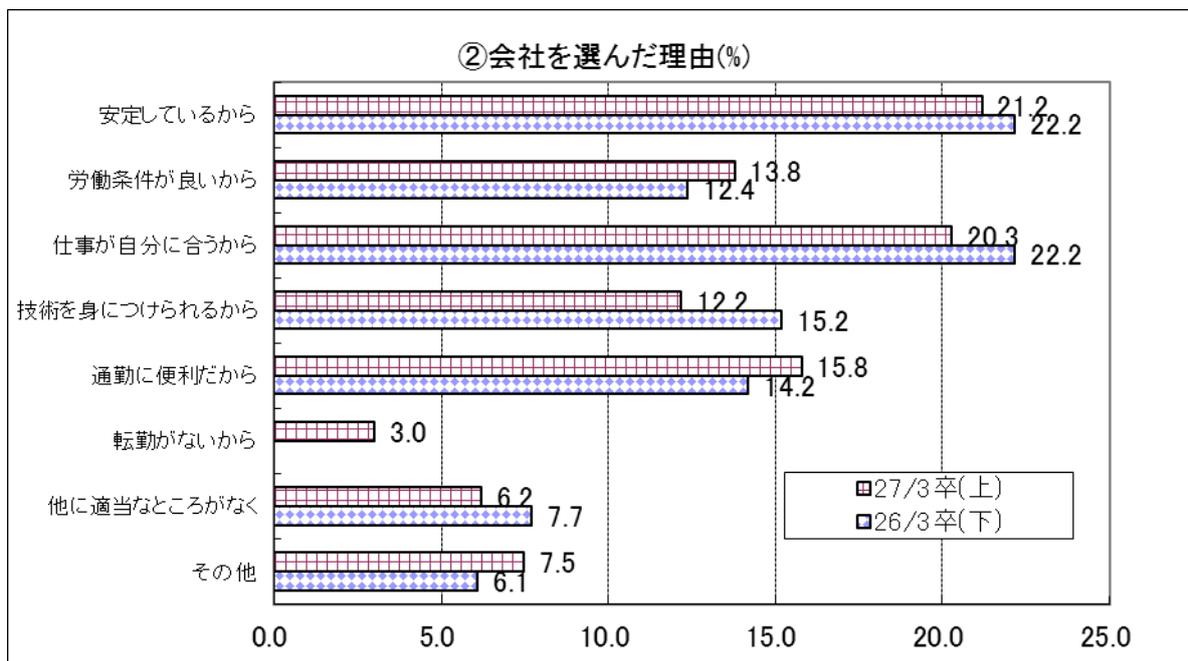
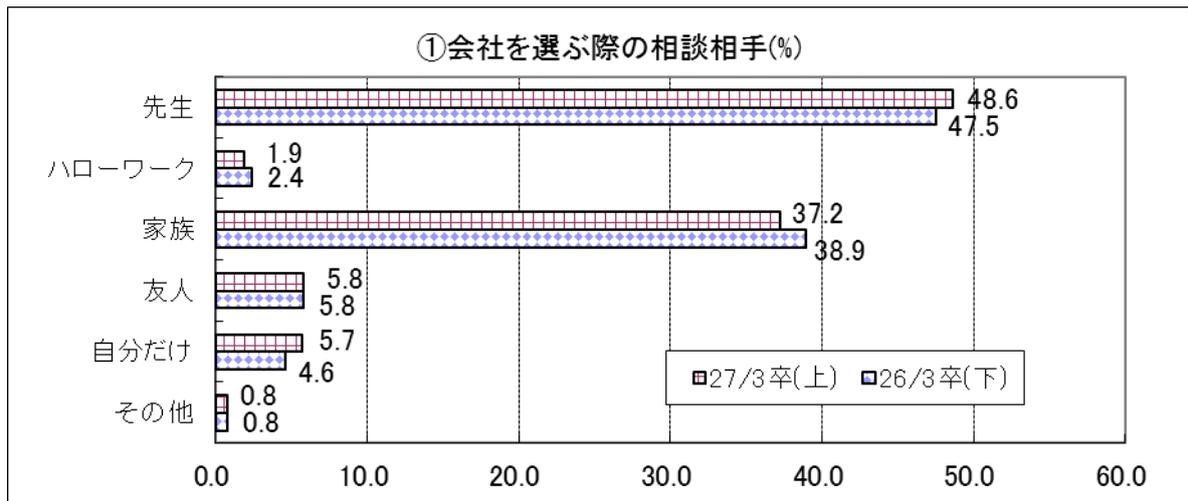
回収調査票	計		1～29人		30～99人		100～299人		300人以上	
	1,456	(100.0)	236	(16.2)	433	(29.8)	424	(29.1)	363	(24.9)
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	921	535	139	97	259	174	271	153	252	111

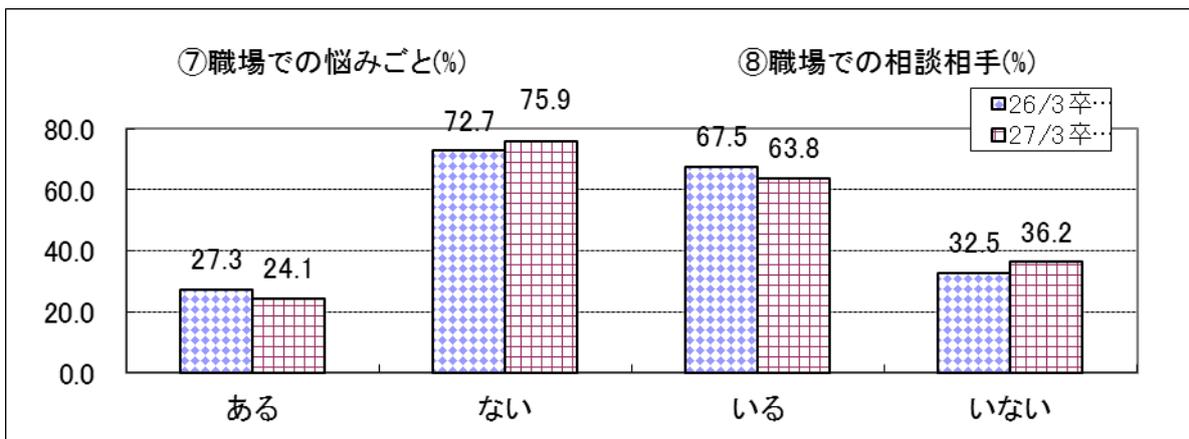
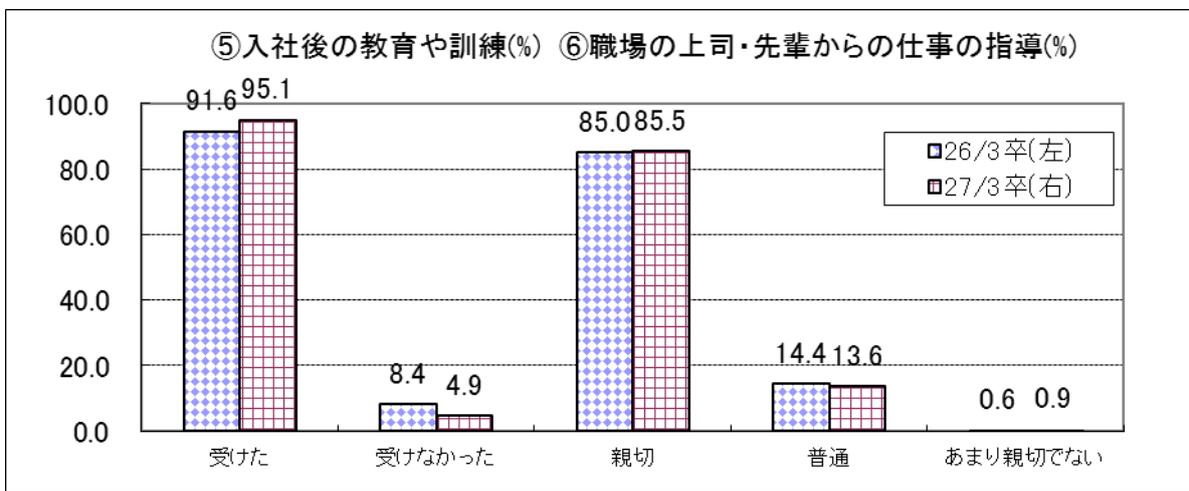
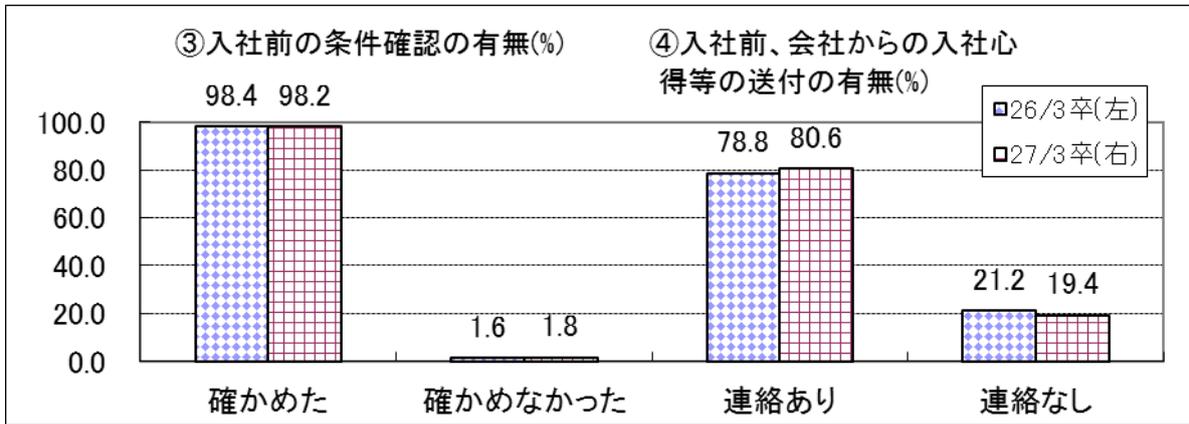
8 調査結果の概要

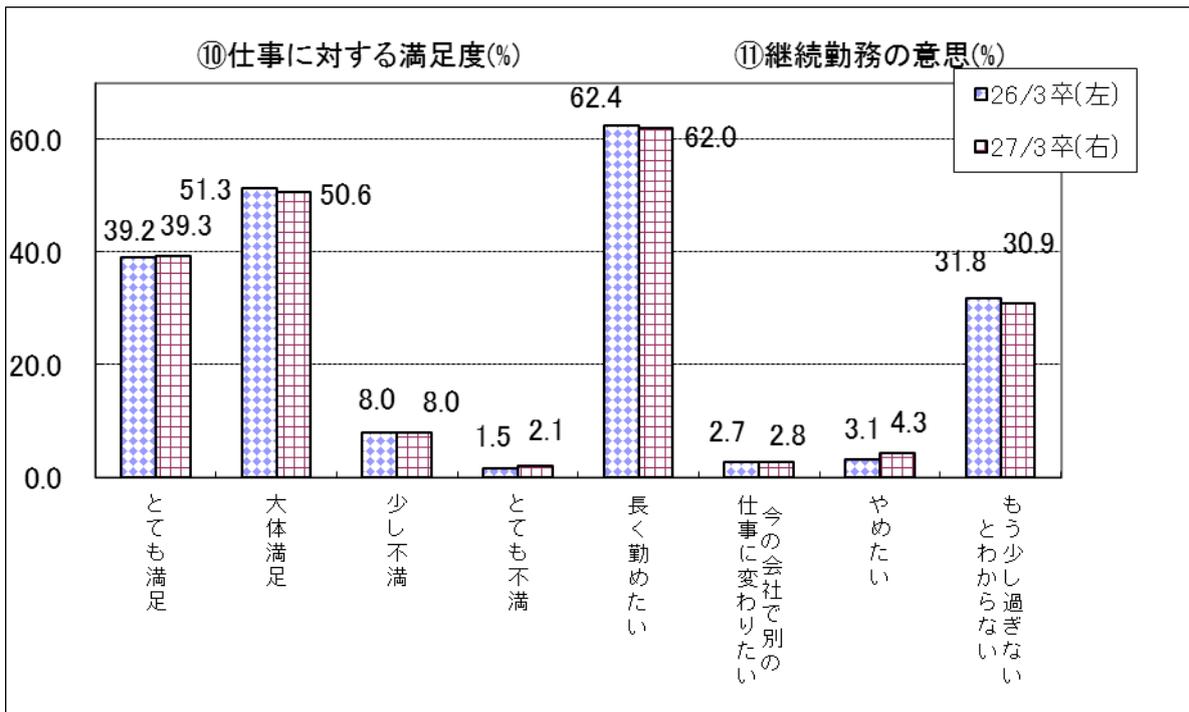
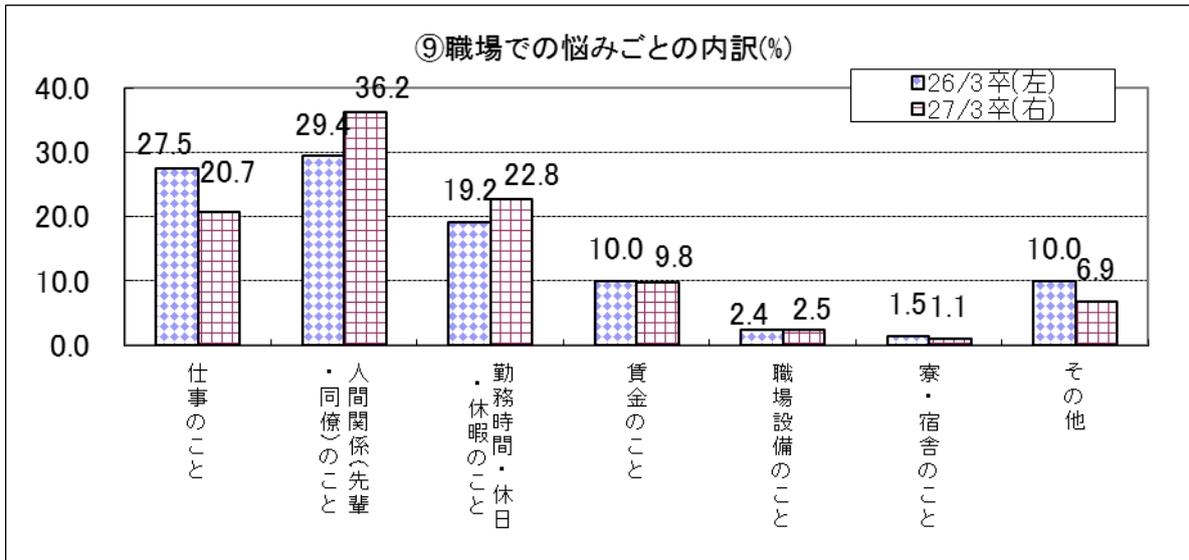
(1) 調査項目

- ア 在学中における就職先決定等の状況
- イ 事業所の受入体制と職場適応指導の状況
- ウ 就職者自身の仕事に対する満足度、職場での悩み等についての事項
- エ 就職活動の参考となったこと、後輩への就職活動のアドバイス

(2) 概要（対前年度比較）







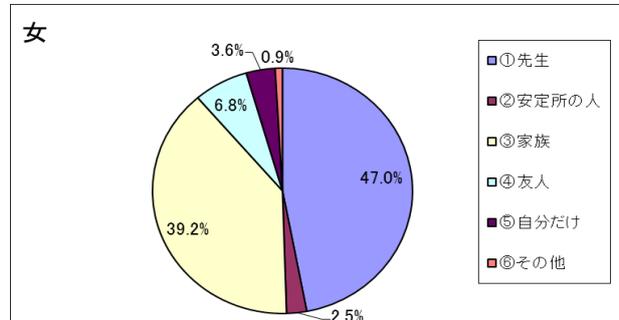
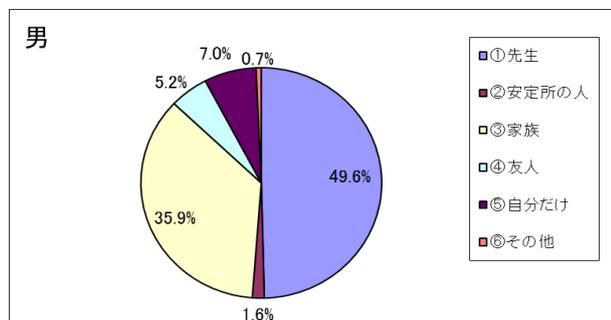
第2部 調査の結果

質問1 今の会社を選ぶのに相談した相手はどなたですか？

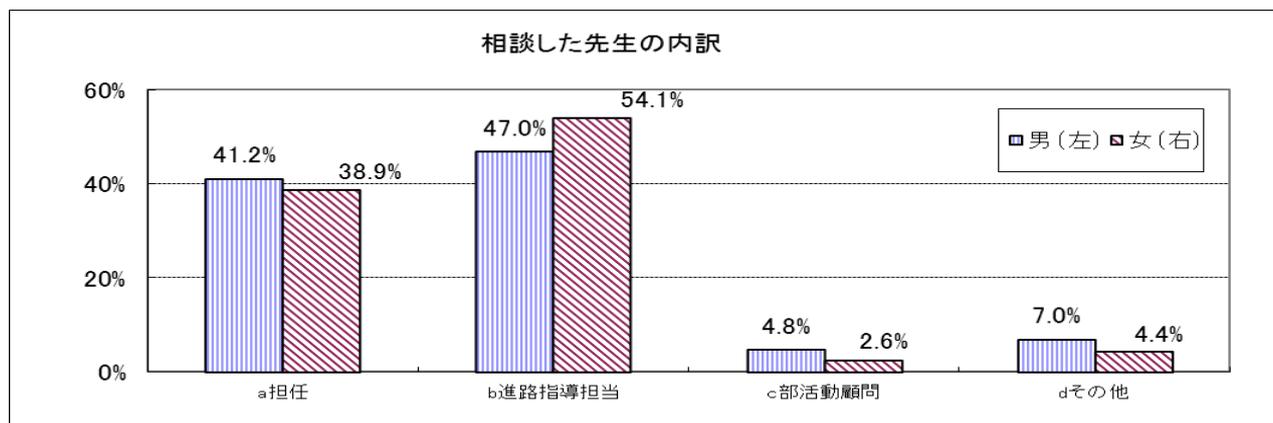
《全体》

単位：%

①先生	②ハローワークの人	③家族	④友人	⑤自分だけで	⑥その他
48.6	1.9	37.2	5.8	5.7	0.8



男女計では、1位が「先生」と答えた者で48.6%（前年度47.5%）、2位は「家族」と答えた者で37.2%（前年度38.9%）となっており、昨年同様の結果となっている。より身近に接する者と相談し、就職先を決定している傾向となっている。

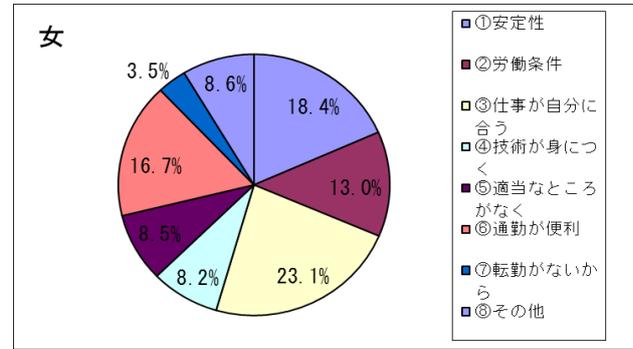
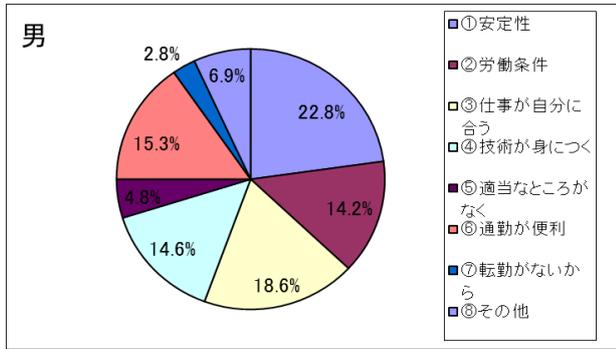


男女とも、担任または進路指導担当との相談割合の合計が約90.6%となっており、生徒の就職先決定に大きな影響を与えている。

質問2 今の会社を選んだ理由は何ですか？

単位：%

項目	区分	計	規模別			
			1~29人	30~99人	100~299人	300人以上
① 安定しているから		21.2	12.0	14.6	24.2	30.8
② 労働条件が良いから		13.8	12.0	13.0	14.6	16.1
③ 仕事が自分にあっているから		20.3	20.8	23.1	19.2	18.2
④ 技術が身につけられるから		12.2	19.8	14.8	10.1	7.7
⑤ 他に適当なところなかったから		6.2	7.1	7.7	5.4	4.1
⑥ 通勤に便利だから		15.8	14.6	16.8	18.0	12.2
⑦ 転勤がないから		3.0	4.6	2.9	2.1	3.0
⑧ その他		7.5	9.1	7.1	6.4	7.9



男女計では、1位は「安定しているから（21.2%（前年度 22.2%）」）、2位は「仕事に自分に合っているから（20.3%（前年度 22.2%）」）、3位は「通勤に便利だから」で15.8%（前年度 14.2%）となっている。

規模別では、「安定しているから」と回答した者は大規模企業ほど割合が高くなっており、「技術が身につけられるから」と回答した者は少人数規模の企業ほど割合が高くなっている。なお、「仕事に自分に合っているから」との回答については、企業規模による差はあまり見られなかった。

また「他に適当なところがなく」は男性が4.8%となっているが、女性は8.5%となっており、就職先決定あたり男性に比べて女性がミスマッチの影響を受けていると考えられる。

質問3 在学中に今の会社の働く条件を確かめてから就職しましたか？

(1) 在学中に労働条件を確かめたかどうかについて

単位：%

区分 項目	計	男	女	規模別			
				1~29人	30~99人	100~299人	300人以上
確かめた	98.2	98.1	98.4	97.5	97.2	99.3	98.6
確かめなかった	1.8	1.9	1.6	2.5	2.8	0.7	1.4

労働条件を確認していない者は1.8%と前年度（1.6%）より微増となった。

就職後の早期離職を防ぐ観点からも、在学中の労働条件確認について、引き続き高等学校及びハローワークにおいて指導が必要である。

(2) 労働条件を確かめた方法について

単位：%（複数回答あり）

区分 項目	計	男	女	規模別			
				1~29人	30~99人	100~299人	300人以上
求人票	79.1	78.6	80.0	83.6	79.3	79.5	78.2
求人一覧表	7.2	6.6	8.2	8.2	7.4	6.5	5.8
パンフレット	13.7	14.8	11.8	8.2	13.3	14.0	16.0

企業規模に関係なく、求人票による労働条件の確認の割合が最も高くなっている。

また、企業規模が大きくなるほど、パンフレットも活用し労働条件を確認する割合が高くなっている。複数資料によって労働条件を確認することが適切な就職先選択には必要であることについて、引き続き高等学校及びハローワークにおいて指導が必要である。

(3) 職場見学の実施について

単位：％

区分 項目	計	男	女	規模別			
				1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
面接前に 見学した	92.8	93.3	91.9	89.1	94.6	94.8	91.0
内定後に 見学した	2.9	2.7	3.2	2.6	2.7	2.2	3.9
見学をし なかった	3.4	3.1	4.0	8.3	2.7	2.0	2.8
会社の都合で できなかった	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	1.0	2.3

面接前に見学した者は92.8%と前年度(90.3%)より増加した。

なお、企業選択に当たり、実際の仕事内容を自分自身で確認することが仕事内容の一層の理解につながり、また、入社後の職場定着へも効果があることから、今後も面接前の職場見学の積極的な取り組みについて、高等学校及びハローワークで引き続き指導していく必要がある。

質問4 入社前に会社から会社の様子や入社的心得などについて連絡がありましたか？

(1) 連絡があったかどうかについて

単位：％

区分 項目	計	男	女	規模別			
				1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
あった	80.6	81.7	78.8	75.6	78.5	81.4	85.8
なかった	19.4	18.3	21.2	24.4	21.5	18.6	14.2

(2) 連絡の回数について

単位：％

区分 項目	計	男	女	規模別			
				1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
1回	51.3	51.4	51.2	62.7	57.2	52.2	38.6
2回	25.5	23.8	28.4	16.7	24.2	27.2	30.2
3回以上	13.2	15.2	9.6	10.3	8.5	12.5	22.0
その他	10.0	9.6	10.8	10.3	10.1	8.1	9.2

連絡の有無では、男女計で80.6%が入社前に会社概要などの連絡をうけており、前年度の78.8%を1.8ポイント上回っている。

会社規模別では、企業規模が大きくなるほど、連絡を受けた者の割合が高くなっている。

連絡の回数では1回が最も多く、企業規模が大きくなるほど複数回の連絡を受けている傾向となっている。

入社前に内定企業から会社概要等が案内されることは、就職に対して抱えている不安の解消につながることから、学業の負担にならないような配慮の下、引き続き会社概要等の配付が定着するように企業への指導に努める必要がある。

質問5 入社後、会社の内容や仕事のことなどについて、教育や訓練などを受けましたか？

(1) 教育や訓練を受けたかどうかについて

単位：%

項目	区分	計	男	女	規模別			
					1~29人	30~99人	100~299人	300人以上
受けた		95.1	94.9	95.4	86.1	94.8	97.9	97.8
受けなかった		4.9	5.1	4.6	13.9	5.2	2.1	2.2

教育や訓練を受けた者は、95.1%となっており、前年度の91.6%と比べ3.5ポイント上回った。また、企業規模別では、従業員規模が大きくなるほど教育や訓練を受けた者の割合が高くなっている。

なお、入社後に仕事内容について不安や悩みを抱えている者も多いことから、一層の教育や訓練等を充実することが職場定着には必要である。

(2) 訓練を受けた場合の日数や内容について

単位：%

項目	区分	計	男	女	規模別			
					1~29人	30~99人	100~299人	300人以上
1日程度		7.6	6.7	9.1	11.4	11.8	7.1	2.4
1~3日程度		14.0	12.1	17.2	17.8	18.7	14.2	6.6
3日~1週間程度		14.8	15.1	14.4	14.6	12.6	15.4	15.7
1~2週間程度		15.8	15.2	16.8	9.7	13.4	17.7	20.2
2週間~1ヶ月程度		16.2	16.8	15.2	15.1	16.8	18.0	13.5
1ヶ月以上		31.6	34.1	27.3	31.4	26.7	27.6	41.6
講義中心		33.2	34.2	31.4	22.5	29.9	37.2	42.1
実習中心		25.0	24.5	26.0	34.9	31.7	22.8	12.7
講義・実習半分ずつ		41.8	41.3	42.6	42.6	38.4	40.0	45.2

企業規模に関係なく、1ヶ月以上の訓練期間が最も割合が高くなっているが、「1日程度」、「1~3日程度」の短い訓練期間は、100人未満の企業において、100人以上の企業に比べ割合が高くなっている。

訓練内容は、「講義・実習半分ずつ」の割合が高くなっている。

また、「講義中心」は300人以上、「実習中心」は1~29人で割合が高くなっており、「講義・実習半分ずつ」は企業の規模に関係なく実施割合は高くなっている。

質問6 採用された時に労働条件を明記した文書

(労働条件通知書・雇入れ通知書など)の交付を受けましたか？

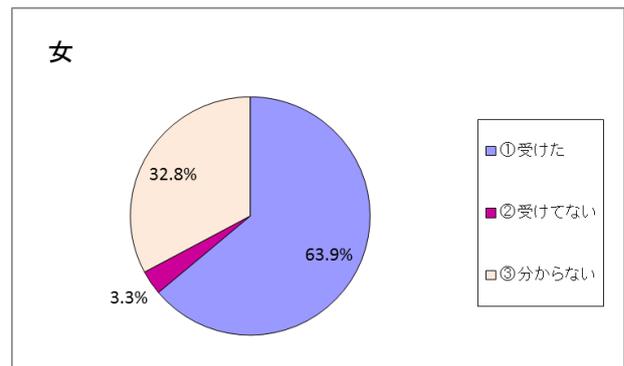
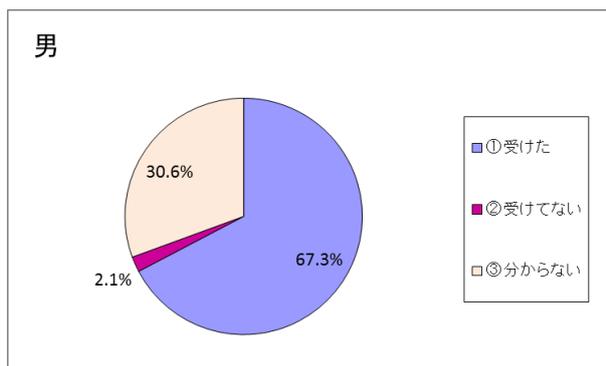
単位：％

項目	区分	計	男	女	規模別			
					1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
受けた		66.0	67.3	63.9	63.2	65.3	69.9	65.9
受けてない		2.6	2.1	3.3	4.3	2.8	2.2	1.4
分からない		31.4	30.6	32.8	32.5	31.9	27.9	32.7

今年度から質問項目に追加したものである。

採用された時に労働条件を明記した文書（労働条件通知書等）の交付を受けた者は、合計で 66.0%となったが、受けていない者も 2.6%いることから、採用後のトラブルを避けるためにも労働基準法に基づき労働条件通知書等を交付するよう企業に指導する必要がある。

また、分からないと回答した者も 31.4%いることから、高等学校とハローワークが連携し労働法制の普及促進に努める必要がある。



男性で 67.3%、女性は 63.9%が交付を受けており、男女別で同様の傾向となった。

質問7 今の職場の上司や先輩は仕事を親切に教えてくださいか？

単位：％

項目	区分	計	男	女	規模別			
					1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
親切である		85.5	87.6	82.0	81.3	85.8	86.3	87.9
普通である		13.6	11.8	16.6	17.4	12.8	13.5	11.6
あまり親切でない		0.9	0.6	1.4	1.3	1.4	0.2	0.5

「親切である」と回答した者は、前年度の 85.0%と比べ 0.5 ポイント上回った。

また、親切であると回答する割合は、企業規模に関係なく高くなっている。

質問8 今の職場で「困っていること」や「悩んでいること」はありませんか？

(1) 悩み等があるかどうかについて

単位：％

項目	区分	計	男	女	規模別			
					1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
ある		24.1	19.8	31.3	29.5	23.8	22.0	22.1
ない		75.9	80.2	68.7	70.5	76.2	78.0	77.9

悩み等が「ある」と答えた者は、前年度の27.3%と比べ3.2ポイント下回った。

また、悩み等が「ある」と答えた女性は31.3%（前年度32.2%）と前年度を下回っているが、昨年同様に女性の方が悩み等を持っている割合が高くなっており、職業選択に係る適切な助言等が必要である。

(2) 悩み等の内容について

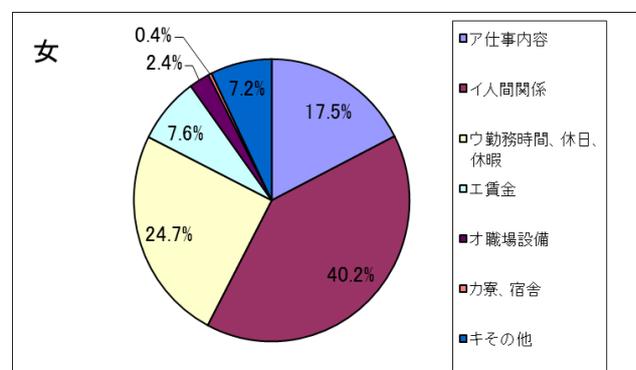
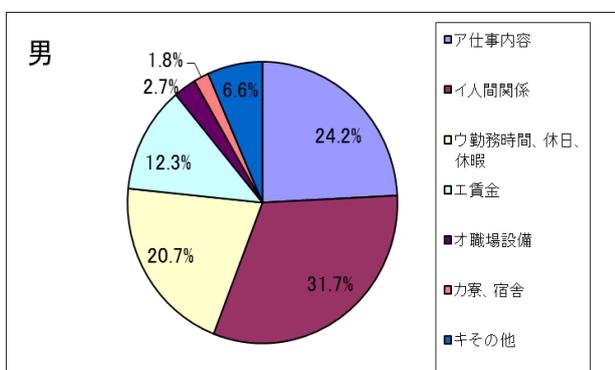
単位：％

項目	区分	計	規模別			
			1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
仕事内容		20.7	19.5	19.2	20.2	21.4
人間関係（先輩・同僚）		36.2	43.7	33.6	38.5	34.7
勤務時間、休日、休暇		22.8	17.2	21.9	22.0	25.5
賃金		9.8	8.1	16.4	5.5	7.1
職場設備		2.5	1.2	2.7	2.8	3.1
寮、宿舎		1.1	0.0	0.7	0.9	3.1
その他		6.9	10.3	5.5	10.1	5.1

昨年同様、人間関係で悩みを抱えている者の割合が全体では最も高く、前年度の29.4%より、6.8%上回っている。

また、人間関係で悩みを抱えている者の割合は会社規模に関わらず高くなっており、特に、30人未満の企業に勤務している者の割合が、43.7%（前年度23.9%）となり、前年度を19.8%も上回っている。

なお、従業員規模が大きい企業に勤務している者の方が、勤務時間・休日・休暇、賃金に悩みを抱えている傾向が見られる。



悩み等の傾向は、男性、女性とも同様であるが、女性の方が人間関係に対する悩みを抱えている割合がかなり高くなっている。

質問9 上司や先輩の中に「困っていること」や「悩んでいること」の相談にのってくれる人がいますか？

単位：％

区分 項目	計	男	女	規模別			
				1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
いる	63.8	65.5	60.9	64.9	63.8	62.8	63.2
いない	36.2	34.5	39.1	35.1	36.2	37.2	36.8

相談にのってくれる人が「いる」と答えた者は63.8%で、前年度の67.5%と比べ3.7ポイント下回った。

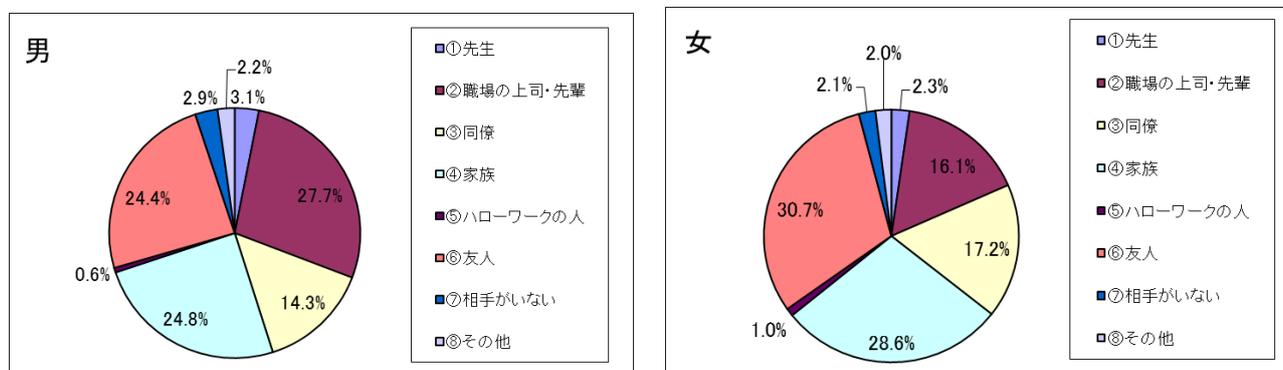
会社内に身近な相談相手がいることにより、抱えている悩み等が解消され職場定着にも良い影響を与えることから、それらに配慮した職場環境作りが必要である。

質問10 悩みがある（今後あった場合）、誰に相談したいと思いますか？

単位：％

区分 項目	計	男	女	規模別			
				1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
先生	2.8	3.1	2.3	4.2	2.4	2.6	2.5
職場の上 司・先輩	23.2	27.7	16.1	24.1	24.2	23.5	21.7
同僚	15.4	14.3	17.2	6.4	12.7	19.2	19.5
家族	26.2	24.8	28.6	28.6	27.2	26.0	24.7
ハローワ ークの人	0.7	0.6	1.0	0.6	1.5	0.3	0.3
友人	26.9	24.4	30.7	30.2	27.1	24.5	26.5
いない	2.6	2.9	2.1	2.5	2.6	2.3	2.8
その他	2.2	2.2	2.0	3.4	2.3	1.6	2.0

全体では「友人」が最も多く、次いで「家族」「職場の上司・先輩」、となっており、普段、接する機会が多い者との相談を望んでいる。



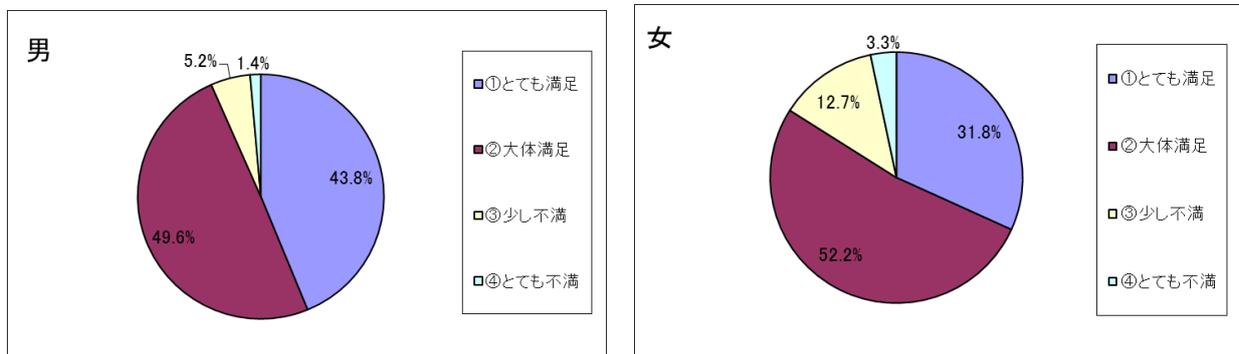
男女とも同じ傾向ではあるが、男性は「職場の上司・先輩」が最も多く、次いで「家族」「友人」となっている。女性は「友人」が最も多く、次いで「家族」「職場の上司・先輩」となっている。

質問 1 1 今の会社を選んで満足していますか？

単位：%

区分 項目	計	男	女	規模別			
				1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
とても満足	39.3	43.8	31.8	37.8	37.4	39.3	43.9
だいたい満足	50.6	49.6	52.2	47.6	50.0	52.8	49.7
少し不満	8.0	5.2	12.7	12.0	9.1	6.9	5.8
とても不満	2.1	1.4	3.3	2.6	3.5	1.0	0.6

「とても満足」「だいたい満足」の合計で 89.9% となっており、前年度の 90.5% を 0.6 ポイント下回った。



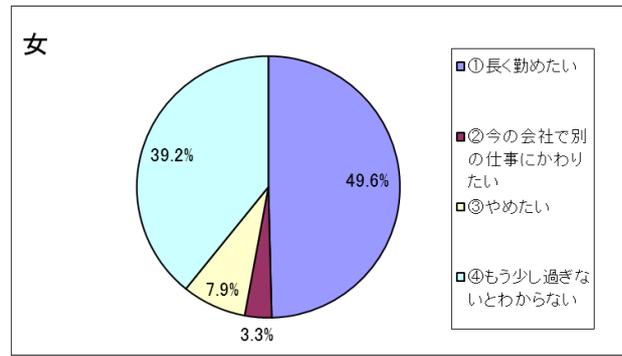
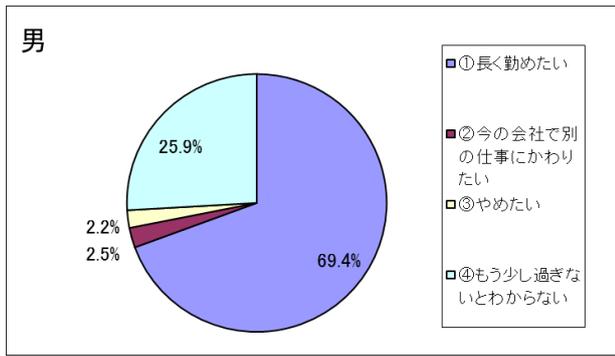
男性は 93.4%、女性は 84.0% が「とても満足」「だいたい満足」と回答しており、男性の方が、より満足感を感じ仕事をしている傾向がみられる。

質問 1 2 今の会社に長く勤めたいと思いますか？

単位：%

区分 項目	計	男	女	規模別			
				1～29人	30～99人	100～299人	300人以上
長く勤めたい	62.0	69.4	49.6	54.0	59.9	62.8	70.2
今の会社で別の仕事に変わりたい	2.8	2.5	3.3	2.1	2.8	1.9	4.7
やめたい	4.3	2.2	7.9	6.4	6.0	2.4	1.7
もう少し過ぎないとわからない	30.9	25.9	39.2	37.5	31.3	32.9	23.4

「長く勤めたい」「今の会社で別の仕事に変わりたい」と答えた者が 64.8% で、前年度の 65.1% に比べ 0.3 ポイント下回った。



男女別では、男性の方が「長く勤めたい」と考えている者の割合が高くなっている。
 なお、男女とも「もう少し過ぎないとわからない」と回答した者の割合も高い傾向にあるため、積極的にコミュニケーションを取りながら職場定着を促進することが必要である。

質問 1 3. 就職活動を進める時に参考となったこと

内容
学校での授業、勉強。学校での活動。(プログラム作成や、作成するための段取りとか参考になった。)
進路の先生の指導や担任の先生の話し合いの時の言葉や相談時のアドバイス、その他の先生方の色々な教えや話、助言や意見をたくさん聞けたこと。講習に来て下さった方の言葉。
学校の進路指導室で、進路指導担当の先生との面談や話し合い。自分に合った職種などを相談した時は、アドバイスなど大変参考になったと思います。(それで内定をもらえたと思う。)
就職指導担当の先生の、アドバイスや社会人としてのマナーの話。
自分の能力に合った仕事の情報を、先生が持ってきてくれる。また、会社について、どんな業務内容なのか聞けたのは、役に立ちました。色々なことを教えてくれて、勧めてくれる。
部活動顧問の話。
進路指導室内にあった去年(過去)の先輩達の就職活動を経験した時の記録(“面接は、へたった。”など)や入社試験のレポートやメモ、コメント、報告書や、その時もらったパンフレット等、履歴書の書き方、過去の就職先一覧などの情報は参考にすべし。
同じ学校のOBである方々の声。
(社会人になった学校の)先輩からの話(学校の先輩が、たくさんその会社に行っていたこととか)、(行きたい会社に行った先輩の)アドバイス、経験談。あるいは、会社の状態や近況などの情報を聞くことです。言葉もかけてもらえた。
同じ部活動の先輩で、職種は違うが話を聞き、参考になった。
高校卒業して就職した人達からの意見。
他企業に、違う職種で就職した先輩の勉強法が、のちに役に立った。
友人の話やアドバイス。(友人が行った職場見学の時のことや、自分に合った仕事を聞いてみることも良いと思いました。)
周囲の大人(家族や親戚、担任)の意見、助言、アドバイス、話や情報は、よく聞くこと。相談をして分からないことも聞く。対談。後押し。
家族の教えやアドバイス。(母)親の言葉や経験談と意見。両親の話と希望。親との会話と相談。兄・姉からのアドバイス。(介護職についている)母のアドバイスや助言。家族の紹介。
友人以外にも話せる(年上の)知り合いの人がいるだけで違う。身近な人の体験談、経験談。
先輩や知り合いが、同じ職場にいたので、実際に働いている人からのアドバイスや助言、仕事の内容、やりがいなどを聞いたこと。
その会社に勤めている(勤めていた人)の話や意見、職場の印象を聞いたり、情報を参考にしました。
家族とか、自分より長く生きている人のアドバイス。
周りからの意見を聞くのが、良かった時があります。(働いている知人の会社の労働の情報とか。)
沢山の色々な人の、色々な沢山の意見や考えを積極的に聞く。相談する。アドバイスをもらう。
困ったことがあったら、早急に相談すること。分からないことは、とにかく調べる。何事も早めに、積極的に、自分から行動すること!
他者からの評価を含め、自分がどういう人間(性格等)なのか、客観的に見るということで、自分自身をしっかり考えるということができ、見つめ直すことが出来た。
色々な就職活動を経験した人に、話を聞くこと。
自分の周囲の人が、どんな仕事に就いているか聞いた。
ハローワークの優しい人達の言葉や、仕事についても説明などの話をたくさん聞けたこと。(ハローワークの人が、学校に来てくださった時の話とか、他の会社見学を勧めてくれたこととか。)参考になりましたね。あと、面談、面接指導等の熱心指導。
スマホのアプリで求人が調べられて、それをハローワークに持って行くと、自分で調べられたり、調べてもらったり、気になるところとか、ハローワークの方が、電話などでも調べてくれて、教えてくれたこと。説明してくれたこと。
学校で行った就職に関する講義(礼の仕方、元気な声を出すこと)などのセミナー、(社会とはどういうことかということが知れた)進路ガイダンス、求人票の見方などの就職ガイダンス、夏季の就職準備ガイダンスでのお話。地域の就職説明会等が、役に立った。
ビジネスマナーについての授業。
(入社前の)合同企業ガイダンス、会社説明会、企業説明会に行くこと。積極的に参加したこと。直接、色々な会社の方から説明(企業内容)や話を聞けたこと。会社の雰囲気も知れたことを参考にした。(社長の説明会が参考になった。)
過去の試験の傾向を知る面接講座や、面接セミナー。
(学校に置いてある面接の内容などが書いてある先輩方のレポートなどを参考にしながら)面接練習をしました。とても参考になりました。
面接練習を何度も行い、本番時に、緊張しすぎないようにすること。(面接練習は、5回以上した方が良いと感じた。)
学校(進路指導担当)の先生や、色々な先生との(1対1)面接指導。
何人かで、一緒に面接練習をすると、自分には考えつかなかった対応の仕方を学べます。特に、志望先が違う場合、良いなと思ったものは、真似しても良いと思います。
面接練習の動作の確認や、言葉づかいは、普段の自分の行動を確認することが出来ました。
日頃の生活態度が、就職にも出ると言われたので、日頃の生活態度、あいさつから見直すことができた。
就職では、あいさつが大切なので、しっかりあいさつをしていきたいです。また、敬語の使い方などの言葉づかい等の礼儀作法、規律、身だしなみ、態度など、基本的なことを大事にと、先生に言われたことは、参考になりました。
一般常識の問題集や試験内容の確認、面接の参考書。題名を忘れたけど就職の本(などを、自分で買った)。
自己PRを上手く表現している人達を参考に、自己PRを上手く書くことが出来ました。(作文でも)

質問 1 3. 就職活動を進める時に参考となったこと

内容
新聞を読むこと。ニュースなどを見ること。(流行りのものなどを知っておくこと。)
面接(会社)での対応。(身なりや、言動、人の目を見て話すこと、笑顔で明るく話すことなど。)
人事部のHPのコメントのページが、面接の際の参考となった。
職場見学の際に、現場で働いている先輩社員に仕事の内容などをしっかりと聞き、質問させていただいた。会社や職場の(作業)環境、雰囲気(人が親切であること)など感じる事等、それが企業を選ぶ一番の参考となった。
自分の興味のある企業の職場見学は、実際に行ってみると、会社の対応で、印象が変わるし、お店の雰囲気も分かるので、行って損はなかったです。どんな仕事をしているのか確認出来たので、行けたことが大きかったです。とても重要だと思います。
会社見学の際の説明会では、たくさん質問すること。自分に合いそうなものは何か考えて、自分が働きたいという意欲があるか確かめる。
(面接前の求人票を参考にした)企業見学、職場見学、施設見学、工場見学は、気になったところや、行きたい所は、必ず、たくさん行った方がいい。(自分の目で確かめるのが大事。しかし、良い面しか見れないが・・・)
(中学・高校で)職場体験(社内体験)に行き、実際に働いている人の話を聞くこと。
高校2年生の時に、希望した職種と場所によって決まるインターンシップという3日間の職場体験をするという機会があり、そこで、今の会社がいいと思った。
(学校の)インターンシップに参加させていただいたことで、仕事の内容への理解が深まり、自分がどういった仕事をしていきたいのか、明確になり、参考になった。また、そこでの態度が評価されたこと。
デュアルシステムの体験。(就業体験)
バイト経験(仕事が、バイトと違うところ)や、今まで自分が経験したことが、参考になりました。
就職する会社への、ボランティアの参加。
曾祖母の介護経験。祖母がきっかけで、入社しようと思った。
面接や試験に関するインターネット(ネットワーク)の情報。
ネットでの、向いている職種の診断や、ネット求人。
新卒のみを募集している企業は、大事にしてくれる傾向があるという情報。
その会社からいただいた資料、パンフレットをよく見たり、CMや、Webサイト(ホームページ、ブログ、Facebook)をパソコンで、会社の掲げる理念や、どんな仕事かなど調べました。
資料や情報をたくさん手に入れて、情報収集して、細かく会社の内容(経営理念や、信条など)を調べたこと。求人票やパンフレットも参考に、入社したい会社のことを、詳しく調べて、よく知っておいた方がいいです。必要なことだと思います。
様々な企業の求人票、パンフレット、ホームページ(公式サイト)をよく見て、説明会や見学に積極的に参加することで、その場の空気が感じられ、他の会社とは、どんな違いがあるのか、比較しながら決めることが出来るということが大事なんだなと思いました。
(学校からもらったり、ハローワークからの)求人票
求人票の内容や、パンフレットなどをちゃんと見くらべながら、学校(に送られてくる)情報と、担任や進路指導の先生のお話しをもとに、いろんな先生のアドバイスとともに相談して、勧められたことかから、決めたこと。
求人票の内容が明確であるかなど、求人票をよく読み、しっかり見て、色々な条件などの内容を確認する。求人票だけを信じないで、先生とかから話を聞いたりすること。良い会社だと、見極めること。
求人一覧表
求人票で、職種、場所、労働条件、仕事内容、お金(賃金・給料・基本給・ボーナス)と、労働(仕事)内容、労働時間、休み(休日、休暇)、会社の設備、会社の将来性などの求人情報が、確認できたこと。安定しているか否か、倍率、(前年の新入社員の退職数とかの)離職率などの(昨年の)データが、確認できたこと。先生にも聞いたりして参考にした。
地元であること、家から職場までの距離、通勤の利便さ、家に近いこと、仕事の内容、年間の休日数。
労働組合があるところに行く。残業時間が書いてないところには、行かない。
自分が人見知りなので、人数が少ないところや、自分に合っているなって思ったから、決めました。
しっかりと求人票などを見て、自分の好きな作業かどうか、自分のやりたいことかどうか、自分に合った仕事かどうか、習ったことを、活かせるかどうかを確認。自分が長く続けられるところに就職する。
友達や担任が、私に合っているとってくれたこと。
色々な会社があり、迷ってしまった。自分のやりたい職業、興味を持った職業があったら、職場見学に積極的にいった方がいいと思います。
自分は何に興味があるのか、何をしたいのか。その職のやりがい何かを、自分で理解すること。
求人票や職場見学はとても大切であるが、それ以上に、興味のあるものを優先した方が、自分のためになる。自分のやりたい事を、沢山見つけて、やろうということ。(自分の心、自分の意思)
社会人準備セミナー。色々。
社会の大変さや、コミュニケーション能力の大切さが分かった。“報告”、“連絡”、“相談”(ほうれんそう)も大切。
働くことは甘くない。だけど、自分のために頑張らないといけないことが、働いてみて感じた。そして、仕事はつらいけど、慣れてくれば、やりがいとか感じてくること。
(よく)覚えてないです。忘れた。思いつかないです。よく分からない。分かりません。
特になし。
進学する必要がなかったです。

質問 1 4. 後輩への就職活動のアドバイス

内容
進学校に進んでいる人の場合、周りも進学だし、先生も進学を勧めてきますが、それだけが全てではありません。過程でしかないです。最終的には、皆が職に就くので、合う職があれば、働きながら学ぶのも有りだと思います。自分が一番輝ける場で、誰かのためになれる場で、働いてください。
もし、途中で進学から就職に変えた人がいるなら、聞いてほしいです。フリーターでいようと考えず、正社員になろうとしてください。そっちの方が絶対にいいです。あと何がしたいんだろうと悩むと思いますが、その時は、求人票と、職場見学で職場の雰囲気や選ぶのもいいですよ。最後まで諦めずに頑張ってください。
(工場で働く時など、作業のための計算があったりするので、勉強は大事。基礎を大切に。
高校で学ぶ学科の重要性を認識してもらいたい。勉強が必要ないと思っている人達は、後悔する！
勉強することも大切だけど、仕事はまず、人としての基本である身だしなみと、あいさつがもっとも大切で、大事だと思います。
早めに、コツコツ勉強し、勤めたい会社を決めると良いと思う。経験上、成績2割、面接8割かな。両方、頑張ってください。
日頃から勉強をしっかり頑張ってやって、成績を上げれば、良いことが待っていると思う。信じて勉強し、評定平均を上げましょう。(学校の中間、期末テストで良い点をとって、評定をあげる。)第一志望のところに内定をもらい、就職してください。
遅刻、欠席をしない、学校を休まないこと。高校で学んだことや、忍耐力を發揮しよう。制服をきちんと着るなど、日頃の生活をきちんとすること。仕事を始める前(学校在学中)に、身体を壊さないように。高校生は、明るさが大事です。皆勤も目指して、頑張ってください。
部活を頑張り、辞めずに最後まで続ける。勉強と部活を両立させることは、大切です。顧問から教わったことなどが、強みになります。(運動部だといえます。)(けがはしないようにする。)あと、受けられることが出来る資格は、出来るだけ受けて、取れるだけ資格取得をしておくといい。自己アピール出来るものを増やす。好きなことを見つける。出来ることをしておく。(分かる実績を残しておく。)
学生生活を楽しんでおくこと。高校生活のうちに、何か一つの目標に向かってやれるものを見つけてほしい。卒業して、社会に出た時、必ず役に立つ。そして、自らがやりたいことを仕事としてやるためには、まず自分を知らう!! 調べられることは、事前に調べて、しっかり情報を集める。
あいさつなどのコミュニケーションを、普段から多くとるように、身につけておくべきです。本当に大切なので。話が出来ると人になるといえます。
高校で学んだことは、とても大事で、やらなくていいことは無いので、後になって後悔しないように、今のうちに、どんどん、色々な出来ることをして、やり抜くことだと思う。自分をよく知り、自分に合った職場を選んでください。教えてもらったことを、ちゃんとしてください。
ガイダンスや就職説明会は、大事にした方がいい。きちんと受けて、とにかく先生の話を、ハローワークの人の話を聞いていれば、ためになる話が必要ある。アドバイスを活かして、就職活動を頑張ってください。
担任が、進路担当だと、学校の評価ばっか気にして、本人が本当に行きたい会社に行けないと思います。進学だとしても同じです。実際、私は、「時間が無いから。」など、軽く脅され、就職先を選ばざるおえず、結果がこれです。皆さんは、頑張ってください。
担任の先生や進路指導の先生、家族や先輩、友人に、自分から、アドバイスを積極的に聞きに行きましょう。分からないことや、困ったこと、悩みがあったら、すぐに相談する。何事も積極的に、自分から動くようにしてください! その方が、手取り早い。インターネットも活用して、下調べはしっかりと行ってください。
毎日、進路指導室へ行き、先生の話を聞き、先生方に相談し、情報を聞いた方がいいです。先輩の残した資料が、参考になるよ!(色々な)人の話をしっかり聞いて、理解するまで聞くと、それも参考になります。将来、自分がどうしたいかを、よく考えてください。受け身の姿勢ではいけません。
就職先を決める時、「したいことは何ですか?」とか、最初に言われ、「そこから決めましょう。」とどいてほしい人が言われると思いますが、仕事をしたことも無いので、そもそも分からないと思いますので、少しでも何かに興味を持ったことから決めていくと良いと思う。
興味のあることを、第一に優先して、早めに目標を立てて、早めに進路を固めて、備えて、仕事を決めてほしい。会社を、選ぶことを先延ばしにすると、良い会社が無くなっていくので、早く選ぶことが大切。目標に向かって努力した方がいい。
自分が何に興味を持っているのかを理解し、就職活動をしっかり取り組む。適当に決めず、自分が好きなことを仕事に出来たら、1番良いと思います。自分が何になりたいかを、今のうちから、しっかりと十分に考えておくことが大切だと思います。沢山情報を持っておいた方が、選択肢が広がります。
自分がしたいこと、自分に合っていること、活かせることを早く見つけ、どんな職業が向いているか、こういう仕事に就きたいと、よく考えて、はっきりさせて決めることが大事。物事は、何でも早めに決断するのが良いと思います。
自分が、接客か、裏方かなど、ある程度、自分に向いているものを理解しておくことが大切だと思う。その上で、自分が少しでもやりたいと思うことをしっかりと、慎重によく考えて、自分に自信を持って、頑張ってください。
自分は、就職活動を始めたのが遅かったので、進路を決めるのに、時間がかかった。なるべく早く行動して、色々な情報収集をした方がいいと思います。行きたい場所を、自分で探し、職場見学してから、面接を受けてください。数回、行きたい企業や職場を決めておく。準備を怠らないこと。早ければ早いほど良い。
楽な仕事なんてないから、まず、自分がどういう仕事に就きたいかを明確に決め、行きたい会社のことをよく調べる。早めに準備をして、行動は早くから積極的にする。見学に行った時は、いっぱい質問をする。時間がなく質問出来なかつたら、パンフレット、インターネットで会社の情報を集めて、調べてから、就職先を決定した方がいいと思います。自分の希望する会社に就けるよう、頑張ってください。後悔しないようにしてほしいです。
本格的に始まるのは夏休みくらいからですが、時間が足りないと思うので、早めに自分の就職先を考えて、しっかりと家族、(進路指導担当の)先生に相談しましょう。今の状態を考えて、どこが適しているかと考えて、早めに自分に適した会社を決めて、勉強しておいた方がいいと思います。就職したいところの情報を得ることは、とても大切だと思います。知識をつけること。焦らずに取り組むこと。自分のやりたいことをやること。他人に流されないこと。諦めずに頑張れ。
しっかりと自分の意思は言う。言いたいことは、言った方がいいと思う。人の意見に流されず、自分の意思で、勤めたいと思った会社に入った方がいい。
自分の意思も大事だと思いますが、自分だけで考えても分からない時もあると思うので、親や先生の意見を聞いて、就職活動をする、色々な意見や考えが聞けて、よいと思います。
悩んでいる時は、他者に相談し、職場見学には必ず行って、それらのことを踏まえ、自分自身で応募する企業を決めること。冷静に考えればよいと思います。
就職活動は大変だけど、一人で悩まないで、自分一人だけで考えて決めず、色々な人(先輩、先生、家族、知人)に相談するといえます。色々な人の多くの意見を聞いて、良く考えて、決めた方がいいです。頑張ってください。
自分の長所と短所を理解しておく。自分の苦手なところを見つければ、どんな仕事なら出来るか、見えてくると思います。
自分の長所を活かした仕事を探すことを、オススメします。自分に合わないと思ったら、違う企業を探した方がいいと思います。
オープンキャンパスなどみたく、職場体験があったら積極的に参加し、まずはやってみて、職場見学にも行ってみる。さらに、自分の行きたい会社じゃなくても、色々なことを知れるし、行きたいところの違いを知れるので、とても良い。
アルバイトをして、社会を知るのも良い。そういう経験も社会勉強になるので大切。そこから得た知識も強みになります。周りから、仕事の話聞いたって、自分に合う仕事を探すのも良いと思います。
自分が今まで体験したことが、仕事の役に立つことがあります。私は、高校3年の夏休みに、会社にバイトで行って、実際に仕事をした経験が、会社を決める上で、とても役に立ったので、そういうことが出来るなら、積極的にやるといいと思います。しっかりと就職先を選んだ方が、自分のためですよ。
仕事は、バイトと混同されがちですが、一つ一つに、大きな責任が付ききますから、しっかりと自分の仕事に責任を持って、精一杯、頑張るといって心構えをすれば良いと思います。
求人票を見るだけでは分からないことも発見できるので、興味のある会社の説明会には、積極的に行く。ちゃんと見学に行く。情報収集をする。そして、自分のやりたいことを見つけれればよいと思います。
すぐに決めて、失敗するより、じっくり調べて、考えて、成功する方がいい。そのために、たくさんの企業の説明を聞いて、周りに相談して決めると良い。自分は決めるのが遅かったけれど、しっかりと時間をかけて、悩んで、悩んで、自分がしたい仕事を見つけて、決めたい方がよい。就職先は、急がず、あわてず、焦らず、ゆっくり、自分に合っているかなどをよく考えて、将来続けていけるかどうかをきちんと考えてほしい。しっかりと時間をかけて、あわてずに決めた方がいい。一生行く道になるかもしれないから。そうして決まったら、それからは、早めに行動する。
働くのは、思っている以上に、簡単なことじゃないので、沢山悩んで、色々な方向から、探してみてください。自分の将来に関わる大事な選択なので、適当に決めず、しっかりと考えて、選んで、決めて、就職活動をしてほしい。
気になったり、興味が少しでもある会社は、何社でも見学に行って確認した方がいいと思います。求人票だけ見ても、雰囲気は分からないし、実際に仕事をしている姿も見る事が出来て、自分がその会社に、もし入ったらと想像してみたり、イメージしてみると良いと思う。職場見学に行くのと、行かないのでは、全然違う。

質問 1 4. 後輩への就職活動のアドバイス

内容
仕事内容や、賃金も大切ですが、例えば同じ事務でも、勤める会社によって全く異なる。職場見学をして、職場の雰囲気を知り、実際にその会社に働いている(知り合いの)先輩の人柄や、働き方を見た上で、会社を決められると良いと思う。自分に合っているかが一番大切だと思う。
自分のやりたいことが決まっているのなら、その分野の会社をたくさん見て決める。いいと思った所は、どんどん職場見学して、自分の目で見てと分かることがあるし、親やその他の大人に、会社の評判を聞くことで、分かることも多い。そして面接を受ける。迷っていたら、誰かに先を越されて、終わってしまう。あと、職場見学に行く時は、身だしなみを良くすること。
会社や職場の雰囲気が分かるから、会社見学・職場見学は、とても大事だと思います!!! 多くの会社に積極的に必ず行くこと。将来的な給料など、分からないことや疑問があれば、聞いたら聞いておいた方がよい。その会社に関わっている人の話も聞き、質問し、情報を得ること。自分が行きたい会社の内容を知っておいた方がよい。
求人票を多く見て、最初から絞らずに、しっかり調べて、沢山情報収集して、色々な職場に見学に行き、その時に自分の思ったことを質問したりして、積極的に色々な情報を得て、どんなことをしているのかなど、企業について知り、しっかりと考えて決めるといいと思う。悔いの無いように、面倒くさがらずに、自分がやりたい仕事を見極めるべき。
少しでも興味があって、気になる企業は、先生に話を聞いたり、求人票をすみずみまで見て、確認し、事前に下調べをきちんとして、どのようなところが情報を得て、必ず、ちゃんと職場見学をして(最低でも、1回は、絶対に行くべき)、しっかり見てから、決め方がよいと思います。ただ、仕事を選ぶ際は、自分だけの判断で決めないこと。何度も面接練習をして、自信をつけて頑張ってください。自分が就きたいところに就く。
自分が勤めたいと思った所は、色々興味のあることを、自ら積極的に調べ、面接前に、必ず企業見学・職場見学のし、年齢層、建物の様子などを、自分の目でよく確かめてください。あとは、求人(一覽)表で、色々な会社とを比較し、休日数、残業時間を見比べるのも参考になります。
多くの色々な会社の求人票等を見比べて、見学もたくさん行って、仕事内容や作業の流れを理解し、雰囲気をしっかり自分の目で見て、感じてから、働いている人達を見てどう思うかも考えて、自分に向いているかどうかをしっかりと考えながら、よく吟味して、就職先を決める。会社選びは、しっかりと見極める方がよいと思う。
人間関係が難しい職場(福祉施設)なので、実際に行って、雰囲気を感じるとよい。
どの仕事も大変だけど、色々探して、しっかりと情報収集して、先生の話をよく聞いて、学校の資料を最大限に利用して、求人票などで、どんな仕事内容なのか、勤務時間、休日をよく確かめて、自分に合った職業(仕事)を見つけて、それを選んでほしい。やりたいことをよく考えて、しっかりと決めること!それが自分のためになると思います。合わないとき長く続きません。無理をしないように、体調管理をしっかりと。
自分のことを見つめ直して、自分の性格に合った職業を見つけてほしいです。自分らしさを出せる職場でないと、長続きしないと私は思うので、本当に楽しめる仕事を見つけてください。そのために、色々な職場を見学してみて、色々な人に会社のことを聞いてみて、興味があるか、自分に合っているかを、自分でよく考えると良いと思います。あと、メモは取った方がよい。
働いて、お金をもらうということは、非常に大変なので、自分が今後も、興味、意欲、関心を持って働ける、自分に合う、きちんとした職を選んでください。一生働きたい場所を見つけてください。
通勤方法、距離、寮かアパートか実家か等は意外と大事。何とかなるだろうと思っていると、余計な悩みや負担を抱えることにもなりかねないので、長く続きそうだと思う仕事を、何個か候補にした上で、自分のニーズに合ったところを選択した方がよいと思う。すぐ辞めると、次の職に就きづらくなると思う。
職種や給料だけでなく、それより何よりも自分が好きな、本当にやりたい、なりた職業業を、情報収集して、出来るだけ探して、いい会社を見つけて、職場見学をして、仕事を選んで就いた方がよいと思います。好きで長く続けられるか決めた方がよい。不満にならないよう、長く働いてほしいです。楽しくやってください。
通勤しやすいことも大切だけど、それだけで選ぶのではなく、仕事内容など、きちんと分かった上で、面倒くさがらずに、ちゃんと仕事を選んで、就職先を決めた方がよい。時間がかかっても、自分に合った仕事、職場がよいですよ。好きな仕事をやった方が、楽しくなるし、長く続くと思います。
どうしても、これじゃなきゃダメだと思って、職を探す。妥協せずに、行きたい会社に挑戦してください。入社したい会社への思いは強く!“Boys be annbicyus”
興味が無くても、少し首を突っ込んでみて、情報を収集し、視野を広げよう。やりたい仕事が無かったら、やってみたい仕事を見つけたらいいと思います。
ずっと続けられる仕事を選んでください。楽そうだからとか、友達と同じところがいいからという理由で選ぶと、やりがいもなく、仕事を楽しく続けるのは、無理だと思います。
就職したい職場を、よく知るよう努力すること。本当にしたい仕事か良く考えること。学校より長く関わる場所なので、自分が、頑張れるところを選ぶ方がよい。
給料の金額が多いとか、休みが多いから、友達がいるからなどの理由で、会社をすぐに決定してしまうと、実は、仕事が過酷な会社もあるので、よく考えて決めてほしいです。自分の勤める会社を、良く調べて、よく知ること。自分が本当に就きたい仕事を、落ち着いて選んでください。この会社で働きたいと思う会社にする。お金より大切なものはあります。周りの人からの情報収集は大切に。
その会社で働いている、1つ、2つ上の方に話をしっかりと聞くこと。説明会で、とても雰囲気良さそうにしているところは、高確率でブラック企業。昇給はしっかりしているのか、年いくら程なのかを、しっかりと調べること。
軽い気持ちで、賃金とかだけで、なんとなく適当に就職先を決めてはいけない。あとで後悔します。どんな仕事をしたいのかなど、よく考えて、ずっとやっていけて、やりがいのある職場(場)を真面目にちゃんと選んでほしい。誇りに思える会社を選んでほしいです。家族とかに相談すること。簡単に決めない。
入社してすぐに辞めることは、中々出来ないから、ちゃんと自分で決めた場所就職した方がよいです。そのためには、仕事内容や、製造している製品など、詳しく調べると、なおよいです。
求人情報をいっぱい見ていた方がよい。資料をよく読み、求人票は、すみからすみまで、くまなくしっかりとチェックした方が、より良い職場を見つけられると思います。また、先生や家族としっかりと話し、アドバイスを聞いて、真剣に考えながら就職活動を進める。
本当に、条件の良い会社を見つけてみましょう。大きい企業は、安定してて良いとか。未来性のある企業とか。お金(給料)をよく確かめ、安定した休みがあり、休みが多いかどうか。家の近くかどうか。そういう会社に行った方がよい。残業時間は、適度にある会社の方がよい。
求人票などの書類だけでは、会社の雰囲気は分からないので、職場見学などで、社員の様子や、どんな仕事なのか、社内はどんな感じなのかを見ておくといい。あとは、ネットでホームページ等を調べて、自分でよく考えて決めることが大切だと思います。求人票の内容だけで、判断しないこと。
求人票にとらわれず、実際に自分の目で確認することが大切。ちゃんと会社のことも調べて、周囲(先輩や先生)の人の話も聞いた方がよいと思います! 求人票は、あてにならない!! 大人(職場の人)の言うことも、信頼ならない。
求人票を見ているだけでは見えてこないものが、企業説明会や見学をすることにより、多く見えます。給料がいい、通勤しやすいというのも大切かもしれませんが、自分に合った会社。こなら頑張れると思える会社は、見ないと分かりません。焦らずに、今の時期を有効に使い、自分に合った会社を見つけ、採用通知をいただけるよう努力をしてください。結果は必ずついてきます。
求人票と同じ内容で働けるはずがないです。休日や残業とかだつて、多少、変わることはあります。求人票だけで仕事内容を判断しない。そもそも求人票に書かれていることは、全部が本当のことじゃないし、絶対でもないのだから、気をつけて。良いことより、悪いことを探すこと。仕事の裏まで知った上で、決めるべき。求人票だけに頼らない方がよい。
求人票や企業見学だけでは、仕事は分からない。入社する前と、入社した後のイメージが変わるので、そこを踏まえて、会社を選んでほしい。入社後を考えておかないと、後悔します。部署によっては、仕事内容が全く違うことを認知しておくべきだと思います。慎重に選ぶこと!!
仕事内容は、求人票では曖昧な部分も多々あるので、会社の見学を早めに、積極的にしっかりとやって、分からないことや、気になったところは、積極的に質問し、しっかりと聞くことが大切です。
仕事内容、勤務時間、保険とかの労働条件をしっかりと確認、把握して、会社についてよく調べ、ちゃんと理解してから決めて、就職活動を始めた方がよいと思います。会社見学をきちんと行う。そして面接とかするべきだと思います。
求人票の内容をしっかりと把握すること。またここ数年間での離職者数などに目を向けるのが、大事だと思いました。離職率が高い場合、会社の内部や労働条件に何かあると思った方がよい。会社選びは慎重に考えてやったほうがいい。
基本的には、一度入社したら、長く勤めると思うので、求人票をよく見て、これから何十年も働く職場になるかもしれないし、自分の人生が左右されるか、決まるとも言えるので、本当に自分のやりたいことなのか、自分に合っているかどうか真剣に考えてから、慎重に就職するかを決めた方がよい。努力もしてください。
就職したいところでも、本当に自分に合っているか、自分がやりたいことか、本当にその会社や職で良いのかよく調べて、確かめて、よく考えべきだと思います。役に立てることを考えて、決めていくのが良いと思います。悔いのない会社を選ぶべき。そのための視野を広げた方がよい。
会社のことをたくさん知ってから、先生や家族とよく話し合っ、やりたいだけじゃなく、自分がやっていけるかどうかをちゃんと考えて、決め方がよいですよ。自分にとって適切な仕事を、しっかりと選択してもらいたい。

質問 1 4. 後輩への就職活動のアドバイス

内容
両親や先生に相談するのも良いですが、自分が入りたいと思ったところの面接を受けた方がいいと思います。興味があるか、好きな仕事に就いた方がいい。壁にあたった時や、不満があっても立ち直りやすいと思う。自分の就きたい職業を決めて、後悔の無いように、就いてほしい。頑張れば、頑張った分だけ、自信が持てるので、頑張ってください。
自分の行きたい職種が少なくても、諦めずに、待っていて。自分に適した仕事は、必ずあります。頑張って、いい所を見つけて！
設備や雰囲気だけで、物事を決めずに、人の話も良く聞いて、本当に自分がやりたいと、本気で思った職種を選んで就いてほしい。自分が本当にしたいと思った会社に入るのが、一番だと思います。真面目に選ばないと、行き詰まり、後悔するから、気をつけて！
本当に行きたいところに行った方がいいと思う、色々な可能性や、先のことをよく考えて、仕事を選んだ方がいいと思う。自分が本当にその会社に入りたいのかは、会社のことをたくさん調べてみることで分かることもある。簡単に仕事を選ぶと、本当に後悔するということ。(迷ったら、辞めろ。)
自分のやりたい仕事ができる会社を選んだ方が、絶対いいです。じゃないと、絶対後悔します。会社についてよく調べ、自分のやりたいことを、最後まで探してほしい。
自分の好きなことを、仕事にすると良い。もしも、自分の好きな仕事をやるために、お金が必要ならば、1年でも5年でも稼いでから、スタートしても遅くはないと思います。勇気を出してください。
最近、夢を見つけれない人が多いですが、自分のやりたいこと見つけれれば、そんなに難しくはないです。やりたいことをすれば、人生は楽しくなります。
自分を信じて、進みたい道に行くこと。自分がやりたい職種を目指す。自分の夢は、しっかりと大切にしてほしい。どうにかなると思います。目標は大きく、やりたい仕事をやれば、GOOD!!
自分に合わないと思っても、してみると楽しいと感じる場合もあります。やりたいことは、職場の中で見つかったりします。知りたいことを、どんどん聞いて、発見を増やすことが大事だと思います。
無理に周りと合わせずに、自分で決めた職につくと良いと思います。最終的な決断は、自分で決定して、誇りを持って仕事に就けるようにしてください。不安もあると思いますが、頑張ってください！
どのような手順で、試験を受けられるのか、まずは、自ら調べて、そのことを伝えられるようにした上で、相談を受けに行く。
とにかく、自分が一番やりたい仕事を考えてみてください。職場見学があれば、積極的に参加をし、職場の雰囲気を感受取ってください。面接時は、元気なあいさつ、受け答え、きちんとした服装が大切になります。特に、日常からスカート丈を短くしている女子生徒は、スカート丈にも気をつけてください。皆さんが、第一志望の企業に内定をいただけることを祈っています。
自分は、面接間近になってから準備をしたので、かなり大変でした。なので、早め早めの行動、準備がとても大事だと思いました。面接などでは、こんな質問が来るだろうと予測するよりも、どんな質問が来ても対応できるようにしておく方が良いと思います。それと、就職先の会社について、詳しく調べることがかなり重要です。
進路活動には、積極的に参加してください。面接練習は繰り返し真剣に行ってください。出来るだけ多く、数をこなして慣れた方がいいし、最低10回はした方がいい。しっかりと受け答えが出来るように、会社の情報を自分で調べた方がいい。面接練習は、すごく大切だと思います。今からでも遅くないし、沢山しても損は無いです。色々な人からアドバイスをもらおうと思います。後悔しないように、本番に備えて頑張ってください。
一般常識の知識を、今のうちから勉強しておき、学科試験がある場合は、最低限、過去に出題された問題は、解けるようにしておく。ちゃんと予習をすること。去年の質問内容を確認して、面接練習を何度も、色んな人と、しっかりとすべきだと思います。一回、一回を大切に、ちゃんと行っていれば、大丈夫です。大事な時は、第一印象。
これまで経験してきたことを、面接で、しっかりと話せるよう、自己PRは、早めに考えておく。字をきれいにする練習や、作文練習をして、作文力を身に付けておく。作文が出来れば、面接でも対応しやすいので、話す内容を、作文にまとめる練習をすると良い。
先輩の過去に受けた時の報告書を見ることをお勧めします。そのデータをもとに、早めに勉強を始めて、対策を立てた方がよい。面接、作文の練習は、早いうちからする。会社のことは、ホームページで見たりして、よく調べて、本当に、自分に合っているか、再確認する。
ニュースや新聞を見たりして、情報を得る。本も読んでおいた方がいい。就職試験の時のために、自分と向き合って、自己分析し、理解しておくことが大切。職場見学には行った方がいいし、色々な会社を見るべき。また、1対1の面接練習ではなく、1対3〜5くらいの人数での面接練習をした方がいい。人の意見も、しっかりと聞く。
言葉づかいや、生活態度を良くする。どんなに隠そうとしても、日々の生活習慣は、良くも悪くも面接に出ます。今からでも悪いところを、一つ一つ見直していったら、結果はついてくると思います。
工場見学など、実際の仕事を見学できる機会を、積極的に利用することで、面接で話せる内容が増え、自分のことをアピールしやすくなりました。興味のある企業へは、進んで見学に行くとうれしいと思います。一発で合格したかったら、誰よりも調べて、面接の練習をし、自分が一番入りたい会社に、誰よりも自分をしっかりとアピールしてください！
積極的に、会社へ意欲をアピールすることが大切!! 高卒だから…なんて思わないで、チャレンジすること。頭が悪くて、知識がなくても、面接では、人柄もしっかりと見てくれるので、元気とやる気があれば、大丈夫です。諦めないで頑張ってください。
自分が入りたい企業について知り、なぜこの会社を選んだのかを、入りたい動機(志望動機)をしっかり考えて、しっかり、しゃべれるようにしておく。進学校からの就職の場合、なぜ、進学を選ばずに就職なのかを、相手が納得できるように言うようにしておく方が良いと思います。
面接では、部活や学校生活、資格などの質問をされるので、答えられるように、練習しておく。それでも、予想の10倍きつかったし、学校で練習した通りには進まないと思っておいた方がいいかもしれない。本番で失敗しないよう、真剣に、その場の対応が大事。落ち着くことが、最優先。
面接では、第一印象がとても大切で重要なので、当日に備えて練習をしておきましょう。そして、身だしなみ。髪形も整えておく。どんなに不安でも、面接の時は、元気良くハキハキと、笑顔で、あいさつや返事をしっかりとすればいいと思います。(印象を残し、自分を覚えてもらうこと。)自分の行きたい職場に行けるように、ちゃんと頑張ってください。
(大きい声での)あいさつと笑顔一番大切で、大事だと思う。忘れないですること。礼儀はしっかりとしとこと。高校のうちから、意識して生活してください。一般常識を身につけましょう。
面接の時は、笑顔でさわやかに質問に答えていけるようにしてみようと思った。技術よりも、言葉づかいや挨拶をしっかりと出来るようにしておく。自分のことを、しっかりと伝える。とにかく元気良く、ハキハキと話す。愛想が大事。明るく望んでください!
試験の時は、あまり緊張せず、落ち着いて、リラックスして、笑顔で、自分が会社の方に伝えたいこと、話したいことをしっかりと言う。(自分がどんな工場で働くのか、聞いてみるとか。)
面接官とのコミュニケーションが大事、自分の気持ちを、素直に伝えること、自分を作らないで、素直になることが大切だと思います。ありのままの自分で挑むこと。面接を頑張って、しっかりと行えば、何とかなるし、受かる。
まずは、あいさつ、服装、言葉づかいなど、基本的なことを完璧にしましょう!そして、自分が希望する会社の情報を、職場見学や説明会などを通して、たくさん集めましょう。面接などは、とにかく練習!たくさん練習するほど、良くなります!あと、社会が今、どう動くか知ると、役に立ちます。
あいさつは、出来ないためです。常日頃から、日常の中で敬語などしっかりと日本語を使う。、礼儀、礼節は大切です。知っていて当たり前の、最低限のマナーは、覚えるべきです。特に言葉づかいと、所作等、身につけておけるだけ、身につけましょう。身なりもしっかりしてほしい。
何度面接に落ちても、めげずに、何度でもチャレンジしてください。何度失敗しても、諦めないことが大事。新しい目標を見つけること。成るようになります。全力で頑張ってください。
自分は初め、進学を希望していたのですが、先生の勧めで、就職に変えました。面接練習をする時間が少なく、苦労したことが多くあったのですが、内定をいただくことが出来ました。後輩の皆さんも、苦労すること多くあると思いますが、頑張ってください。
行きたい企業の人物を目指すだけでなく、教養も、一社会人として大切であるため、日々の努力が大切である。自分から、常に改善点があると考え、向上心を持って取り組めば、問題は無いはず。頑張ってください。
今やれることを、必死に頑張ってください。内定がゴールではないので、その先に向かって、元気に頑張る。人脈は、広げておいた方がいい。早く社会人になろう。
目標があれば、大丈夫だと思います。努力次第。やる気と気合いと根気と勇気。なんとかなる。色々仕事はあるので、自分の夢に向かって、羽ばたけ。頑張って取組んでください。為せば成る!
人生が決まるので、生半かな気持ちで、就職に挑まないこと。慎重に、真剣に就職活動を行う。常に責任感を持って、行動する。とにかく手を抜かず、気持ちをしっかりと強く持つ。頑張るしかない。
しっかりと自分と向き合って、あまり気負わず、気を張り過ぎず、程良い緊張感はある程度、無理をせず、気持ちを楽に持って、就職活動を頑張ってください。
最初は何事も大変だし、何かと大変だけど、(面倒くさいと思わずに、数ヶ月の我慢なので、)とにかく頑張ってください!!笑顔を忘れずに!!

質問 1 4. 後輩への就職活動のアドバイス

内容
この先が分からなくて、不安だと思うところもあると思いますが、緊張しないで、自分に自信を持って、自分の長所をたっぷりと売り込んで、やってやる！くらいの気持ちで就職活動を、頑張ってください。(当たって砕ける。)
思ったより就職は、とても大変で、色々疲れます。最初はつらいかもしれないし、悩んだり、難しいこともあると思いますが、体調に気をつけて、無理をしすぎないようにして頑張ってください。
緊張するかもしれないけど、早く就職が決まるように、積極的に、失敗を恐れず、明るく、元気に、最後まで頑張ってください。自分を信じてあげてください。
言われたことを、きちんとする。最後まで全力で、諦めないで、様々なことに挑戦してみる。妥協しないで努力することが大事かな？自分らしさを忘れずに!!! 頑張ってください。
一発で決まることが無かったとしても、一度落ちてしまっても、落ち込まず、決して諦めず、その会社とは縁がなかったと思って、気持ちを切り替え、なるべく早く次の行動に移ることが大切だと思います。自分のやりたいことを見つけてください。一生懸命、頑張ってください。
落ちるとばかり思わずに、自信を持って、諦めない姿勢で、就職活動を続けることが大切だと思います。周囲の人の雰囲気、のまれないようにすると良いと思います。大変なことがあっても、くじけず、頑張ってください。自分に負けないでください。
不安がらずに前向きに、物事や将来を考えるといいと思う。恥ずかしがらずに、一生懸命取り組みれば、頑張った分だけ、結果が出ます。準備は大変だけど、内定をいただいた後は、達成感がすごいです。
実際に働いてみると、何もわからない。まだ新人なので、何も言えない。
会社に入ると、どこで誰が見ているか分かりません。たとえ、プライベートでも、気をつけてください。
社会人は、学生だったころと比べると、甘くないです。とても大変で、厳しいので、心の準備を。社会人になる前に、時間や提出期限を守るようになっておいた方がいいです。社会人は、学生とはまるで違う。我慢が必要。学生気分そのまま就職すると、大変です。
入社して、すぐ辞めることはしないでください。上司は、期待を込めて接しているから。
働いてみて、やっとなことの大変さが分かったので、十分な心構えが必要だと思った。見学は、行けるなら、絶対に行った方がいい。
他人から見たら、たいしたことないような事で、悩むようになります。また、外から見た会社と、入ってから見る会社は、ギャップがあります。就職するなら、それなりの覚悟が必要だと思います。
つらいことがあるけど、それが“働く”ということなので、どんなことも諦めずに、長く続けることが大切です。(最後まで、頑張ってください。)
就職をして、初めは、分からないことだらけで不安だと思うが、分からないことは、しっかり聞いてメモをとるようにすること。上司、先輩、同僚のみならず人間関係を良くすることで、仕事が楽しくなるかもしれません。沢山の友達と協力して、頑張ってください。てきぱきと、動けるようにしてほしいです。
失敗やミスはするものだけど、同じミスを、(あまり)しないように心がける。なぜミスをしたかが分からないと、同じミスをする。
あらかじめ、介護の勉強をしておいた方がいい。“介護職員初任者研修”なら、在学中もとれるから、オススメです。施設へボランティアに行くのもいいと思います。
偉そうに言えないけれど、介護という仕事はとても大変で、体力も使う仕事なので、一度やると決めた以上、その決心を貫き通してください。
名刺の渡し方、受け取り方を知っておいた方がいいと思います。元気に、ニコニコしていれば、先輩とも仲良く、お客さんとも話しやすいですよ。
職語を知っていると、仕事がスムーズになる。(組立て)
建設会社は、つらくて大変な毎日ですが、その分、自分に大きな利得を得ることが出来ます。その分の技術、信頼、給料も就いてくるので、建設業は面白いですよ。暑い所や、寒い所が大丈夫な人は、来て下さい。
大変だけど、思っているよりも、会社は楽しいです。楽しく仕事が出来れば、大丈夫だと思う。
笑顔でやれば、何事も楽しく出来る。社会人になったら、隠し事などはしないこと。
専門学校に行くより、こっち(就職)に来た方がいいと思います。
進学したい気持ちがある人は、そちらも良く調べて、後悔ないように、決定してください。オープンキャンパスに、行っていただいた方がいい。
高卒じゃなく、大学に行った方がいい。
特になし。

新社会人のアンケート用紙（新規高校卒業就職者用）

ハローワーク・新潟労働局

このアンケートは新潟労働局・ハローワークの職員以外には見せませんので、安心して、ありのままを教えてください。また、ご記入いただいたアンケートは『あなたが直接、同封の返信用封筒により、この「新社会人のアンケート用紙（新規高校卒業就職者用）のみ送付」してください。

氏名		男・女	出身校	
			高等学校	
勤務先会社名・店舗名	仕事内容		従業員数（該当に○印）	
			A 1～29人	B 30～99人
			C 100～299人	D 300人以上

※安定所記入欄	担当者	産業分類	勤務先管轄ハローワーク

★自分の考えに合う「答え」の番号に○印を付けてください。（ ）のところも教えてください。

質問	回答
1 今の会社を選ぶのに相談した相手はどなたですか？	①先生 →（該当に○印）【a 担任 b 進路指導担当 c 部活動顧問 d その他】 ②ハローワーク ③家族 ④友人 ⑤自分だけで ⑥その他（具体的にカッコ内に記入） 〔 〕
2 今の会社を選んだ理由はなんですか？	①安定しているから ②労働条件がよいから ③仕事が自分にあっているから ④技術を身につけられるから ⑤他に適当な所がなかったから ⑥通勤しやすいから ⑦転勤がないから ⑧その他（具体的にカッコ内に記入） 〔 〕
3 在学中に、今の会社の働く条件を確かめてから就職しましたか？ また、職場見学をしましたか？	①確かめた →（該当に○印）【a 求人票 b 求人一覧表 c パンフレット】 ②確かめなかった ----- 《職場見学について》 ①面接前に職場見学をした ②内定後に職場見学をした ③職場見学をしなかった ④会社の都合でできなかった
4 入社前に、会社から会社の様子や入社的心得などについて連絡はありましたか？	①あった →（該当に○印）【a 1回 b 2回 c 3回 d その他】 ②なかった

●裏面もあります。

質 問		回 答	
就職してからのこと	5 入社後、会社の内容や仕事のことなどについて、教育や訓練などを受けましたか？（教育や訓練などを受けた場合は、その期間と内容は？）	①受けた →（主な内容 a 講義中心 b 実習中心 c 講義・実習半分づつ） ア 1日程度 イ 1～3日程度 ウ 3日～1週間程度 エ 1～2週間程度 オ 2週間～1ヶ月程度 カ 1ヶ月以上 ②受けなかった	
	6 採用された時に労働条件を明記した文書（労働条件通知書・雇入れ通知書など）の交付を受けましたか？	①受けた ②受けてない ③わからない	
	7 今の職場の上司や先輩は仕事を親切に教えてくれますか？	①親切である ②普通である ③あまり親切ではない	
	8 今の職場で「困っていること」や「悩んでいること」はありませんか？	①ある →ア 仕事の内容（具体的にカッコ内に記入） [] イ 人間関係（上司・先輩・同僚） ウ 勤務時間、休日、休暇のこと エ 賃金のこと オ 職場設備のこと カ 寮、宿舎のこと キ その他（具体的にカッコ内に記入） [] ②ない	
	9 上司や先輩の中に「困っていること」や「悩んでいること」の相談にのってくれる人がいますか？	①いる（具体的な相談相手をカッコ内に記入） [] ②いない	
	10 悩みがある（今後あった）場合、誰に相談したいと思いますか？	①先生 →（該当に○印）【a 担任 b 進路指導担当 c 部活動顧問 d その他】 ②職場の上司・先輩 ③同僚 ④家族 ⑤ハローワーク ⑥友人 ⑦相談したい相手がいない ⑧その他（具体的にカッコ内に記入） []	
	11 今の会社を選んで満足していますか？	①とても満足 ②だいたい満足 ③少し不満 ④とても不満 不満の理由（具体的にカッコ内に記入） []	
	12 今の会社に長く勤めたいと思いますか？	①長く勤めたい ②今の会社で別の仕事にかわりたい ③やめたい ④もう少し過ぎないとわからない	
	13 就職活動を進める時に参考となったこと		
	14 後輩への就職活動のアドバイス		
その他	15 ハローワークでは在職中でも仕事に関する相談を行っておりますので、相談を希望する場合は住所等を記入してください。（※希望しない場合でもハローワークから連絡する場合があります。） なお、 <u>早急に相談したい場合は、最寄りのハローワークへ自ら直接相談してください。</u>	住 所	
		電話番号	
		メールアドレス	
		連絡時の要望など	

○アンケートにご協力ありがとうございました。

新しい職場でお仕事をするあなたを応援します！

新しい職場で、悩むようなことがあったら、下記の窓口をご利用下さい。
一人で悩まずご相談下さい。きっと解決の道が見えてきます。

ハローワーク●●

住 所： ●●市●●町●-●-●

電話番号： ●●●-●●●-●●●●●

開庁時間： ●時●●分～●時●●分(月～金曜)

その他、裏面窓口もご利用下さい。

その他の相談窓口(労働基準監督署等の公的機関)

解雇、賃下げ、賃金不払い、パワハラなど職場のトラブルをご相談下さい。

●●総合労働相談コーナー(●●労働基準監督署内)

住 所： ●●市●●町●-●-●

電話番号： ●●●-●●●-●●●●●

開庁時間： ●時●●分～●時●●分(月～金曜)

雇用均等、セクハラ、育児・介護両立等の相談窓口

新潟労働局雇用均等室

住 所： 新潟市中央区美咲町1-2-1 新潟美咲合同庁舎2号館4階

電話番号： 025-288-3511

開庁時間：8時30分～17時15分(月～金曜)

法的トラブル解決の総合相談所

法テラス新潟 電話番号：050-3383-5420

報告事項

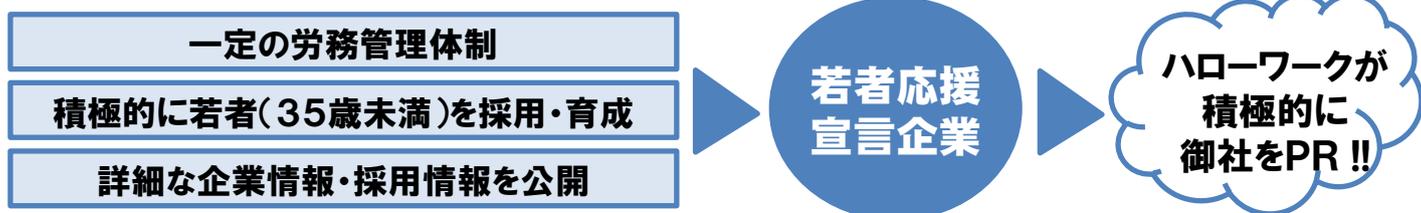
機関名・団体名：新潟労働局

件名	「若者応援宣言企業」及び「若者雇用促進法に基づく認定制度」について
要旨	<p>○「若者応援宣言企業」（詳細は、別添リーフレット参照）</p> <p>一定の労務管理の体制が整備されており、若者（35歳未満）のための求人を提出し、若者の採用・育成に積極的であり、通常の求人情報よりも詳細な企業情報・採用情報を積極的に公表する中小企業を「若者応援宣言企業」として、積極的にPR等を行う事業です。</p> <p>【メリット】</p> <p>(1) 「若者応援宣言企業」の名称を使用でき、若者の育成・採用に積極的であることを対外的にアピールできます。</p> <p>(2) 厚生労働省が運営するポータルサイト「<u>ユースエール認定企業・若者応援宣言企業検索システム</u>」等に企業情報を掲載しますので、会社の魅力を広くアピールすることができます。</p> <p>(3) 就職面接会などについて積極的に案内しますので、若者と接する機会が増え、より適した人材の採用を期待できます。</p> <p>(4) より詳細な企業情報を公表できますので、業務内容・雰囲気・業務内容がイメージしやすくなり、若者の職場定着が期待できます。</p> <p>○「若者雇用促進法に基づく認定制度」（詳細は、別添リーフレット参照）</p> <p>若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を厚生労働大臣が認定し、企業が求める人材の円滑な採用等を支援していく制度です。</p> <p>なお、認定企業は、事業所単位ではなく企業単位であり、常時雇用する労働者が300人以下の中小企業が対象となります。</p> <p>【メリット】</p> <p>(1) 自社の商品、広告などに<u>認定マーク</u>の使用が可能となり、<u>認定を受けた優良企業であることを対外的にアピール</u>することができます。</p> <p>(2) 厚生労働省が運営するポータルサイト「<u>ユースエール認定企業・若者応援宣言企業検索システム</u>」等に企業情報を掲載しますので、会社の魅力を広くアピールすることができます。</p> <p>(3) 「トライアル雇用奨励金」「キャリア形成促進助成金」「キャリアアップ助成金」について、一定額が加算されます。</p> <p>(4) 就職面接会などについて積極的に案内しますので、若者と接する機会が増え、より適した人材の採用を期待できます。</p> <p>(5) より詳細な企業情報を公表できますので、業務内容・雰囲気・業務内容がイメージしやすくなり、若者の職場定着が期待できます。</p>

「若者応援宣言企業」になりませんか？

「若者応援宣言企業」とは・・・

一定の労務管理の体制が整備されており、若者(35歳未満)を対象とした求人を提出または募集を行っており、通常の求人情報よりも詳細な企業情報・採用情報を積極的に公表する中小企業を「若者応援宣言企業」として、都道府県労働局・ハローワークが積極的にPR等を行う事業です。



「若者応援宣言企業」になると、どんなメリットがあるの？

1	若者の職場定着が期待できます	ハローワークに提出される通常の求人情報に比べて、より詳細な企業情報・採用情報を公表できますので、御社の職場環境・雰囲気・業務内容がイメージしやすくなり、より適した人材の応募が見込まれ、採用後の職場定着が期待できます。
2	御社の魅力をアピールできます	厚生労働省が運営する、若者の採用・育成に積極的な企業等に関するポータルサイト「ユースエール認定企業・若者応援宣言企業検索システム」※1等に企業情報を掲載しますので、御社の魅力を広くアピールできます。
3	就職面接会などへの参加機会が増えます	就職面接会などの開催について積極的にご案内しますので、若年求職者と接する機会が増え、より適した人材の採用が期待できます。
4	「若者応援宣言企業」を名乗ることができます	「若者応援宣言企業」の名称を使用し、若者の育成・採用に積極的であることを対外的にアピールすることができます。※2

※1 ポータルサイトのURL：<http://www.wakamono-saiyou-ikusei.go.jp/search/service/top.action>

※2 ただし、「若者応援宣言企業」を宣言できる期間は原則、宣言した日が属する年度の末日までです。継続して「若者応援宣言企業」を宣言する場合は、改めて求人等を提出し、宣言基準の確認を受けてください。

どんな企業が「若者応援宣言企業」になることができるの？

次の1から7の基準(宣言基準)をすべて満たす中小企業であれば、宣言できます。

1	学卒求人※3など、若者対象の正社員※4の求人申込みまたは募集を行っていること
2	若者の採用や人材育成に積極的に取り組む企業であること
3	下記の雇用情報項目について公表していること 【新卒者や35歳未満の若者の採用者数・離職者数、研修内容、前年度の月平均所定外労働時間、有給休暇の平均取得日数、育児休業の取得対象者数・取得者数(男女別)】
4	過去3年間に新規学卒者の採用内定取消しを行っていないこと
5	各種助成金の不支給措置を受けていないこと
6	過去1年間に事業主都合による解雇または退職勧奨を行っていないこと
7	重大な労働関係法令違反を行っていないこと 等

※3 大卒等求人については、「既卒3年まで応募可」であることが必要です。

※4 ここでいう正社員とは、直接雇用であり、雇用期間の定めがなく、社内の他の雇用形態の労働者(役員を除く)に比べて高い責任を負いながら業務に従事する労働者をいいます。



「若者応援宣言企業」になるまでの流れ

① 求人提出又は募集

ハローワーク等の職業紹介機関に学卒求人・一般求人を提出、または自社で学卒者や若者を募集

※直接雇用で、期間の定めがない、いわゆる正社員の求人・募集であることが必要です。
さらに、必要な経験が「不問」であることも必要です。

② 「宣言基準」の確認

- 若者の採用や人材育成に積極的に取り組んでいること
- 雇用情報項目を公表していること
- 重大な労働関係法令違反を行っていないこと **ほか**

※宣言書などによって「宣言基準」を確認させていただきます。

③ 若者応援宣言

「若者応援宣言企業」として厚生労働省のポータルサイトなどで企業情報を公開

- 宣言された日から原則、その日が属する年度の末日まで「若者応援宣言企業」の名称を使用できます。

企業情報(PRシート)掲載例

このような情報が若者の採用・育成に積極的な企業等に関するポータルサイトなどに掲載されます。

若者応援宣言企業PRシート



事業所名	(フリガナ) ニホンワカモノケンキュウジョ (株) 日本若者研究所		写真1	写真2	写真3			
所在地	111-1111 千代田区九段南1-1							
事業内容	ネットワーク技術やセンサ技術など当社の特長ある技術アセットと幅広いS1ノウハウ・顧客アセットを融合し、国内外の金融機関などに向けて、安全、安心で効率的な社会ソリューションを提供します。							
従業員数	10	事業所番号	2522-3456789					
正社員の募集、 定着状況	新卒者等 ※1			新卒者等以外(35歳未満)				
		前年度	2年度前	3年度前	前年度	2年度前	3年度前	
	募集状況 ※2	○	○	○	○	○	○	
	採用者数	(男性)	10	10	10	10	10	社長や先輩職員からのメッセージ
		(女性)	10	10	10	10	10	
定着者数	(合計)	20	20	20	20	20	未経験でもやる気のある方大歓迎です!	
平均継続勤務年数	20.5 年	前年度の有給休暇の平均取得日数		7 日/年				
前年度の育児休業の 取得状況 ※3	(男性)	10 人 / 10 人		前年度の月平均所定外労働時間 (月平均)				
	(女性)	20 人 / 20 人		20 時間				
役員・管理職の女性割合	(役員)	20 %	(管理職)	20 %				
研修制度	新人研修	インターンシップ受入		(可)・否)	・実施できる内容: 介護補助業務作業			
		・受入可能時期: 1月		・受入人数: 20				
自己啓発 支援制度	技能免許取得費用負担	職場見学・職場体験の受入		(可)・否)	・実施できる内容: 職場見学			
		・受入可能時期: 12月		・受入人数: 10				
キャリア・コンサルティング制度	キャリア・コンサルティング		出張講話の可否	(可)・否)	求人番号	11111-1111111 11111-1111111		
メンター制度	(有)・無)	社内検定制度	非正規の職場情報 ※4	育児休業取得率50% 所定外労働時間実績5時間				
企業HP	http://www.mhlw.go.jp/		備考	ユースエール認定を目指して、有給休暇所得日数アップのための「月1休暇」運動を推進中。				
企業採用ページ	http://www.mhlw.go.jp/							

○事業所PRシートをご覧になった方へ!
この事業所PRシートは、35歳未満の方を対象とした内容(「若者応援宣言企業」となっております。予めご了承下さい。
○事業所番号、求人番号はハローワークで求人を受理した場合に記載されます。なお、既に充足している場合、求人番号が空欄になるかリンク先においてその旨表示されます。

- ※1 新規学校卒業生及び既卒3年以内の者で新規学校卒業生と同等の処遇を行う正社員に就職をした者。
- ※2 正社員の募集を行った年度に○を付している。
- ※3 直近の3事業年度の取得実績について記載。【男性】育児休業等の取得者数/配偶者が出産した男性労働者の数【女性】期間内の取得者数/出産した労働者の数(対象者なしの場合は「-」)。
- ※4 非正規労働者の採用状況、有給休暇取得状況、所定外労働時間実績等についての自由記述欄。



詳しくは、都道府県労働局、ハローワークへお問い合わせください。

厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク

(H27.11)

若者の採用・育成に積極的で雇用管理の優良な中小企業を応援します！

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を若者雇用促進法に基づき厚生労働大臣が「ユースエール認定企業」として認定する制度が平成27年10月からスタートしました。

認定した企業に対して情報発信を後押しすることなどによって、企業が求める人材の円滑な採用を支援し、求職中の若者とのマッチング向上を図ります。

Q 「ユースエール認定企業」として認定を受けると、どんなメリットがありますか？

A ユースエール認定企業になると、以下の支援を受けることができるようになり、企業のイメージアップや優秀な人材の確保などが期待されます。

1	ハローワークなどで重点的PRを実施	「わかものハローワーク」や「新卒応援ハローワーク」などの支援拠点で認定企業を積極的にPRすることで、若者からの応募増が期待できます。また、厚生労働省が運営する、若者の採用・育成に積極的な企業などに関するポータルサイト「ユースエール認定企業・若者応援宣言企業検索システム」（4ページ参照）などにも企業情報を掲載しますので、御社の魅力を広くアピールすることができます。
2	認定企業限定の就職面接会などへの参加が可能	各都道府県労働局・ハローワークが開催する就職面接会などについて積極的にご案内しますので、正社員就職を希望する若者などの求職者と接する機会が増え、より適した人材の採用を期待できます。
3	自社の商品、広告などに認定マークの使用が可能	認定企業は、若者雇用促進法に基づく認定マークを、商品や広告などに付けることができます。認定マークを使用することによって、若者雇用促進法に基づく認定を受けた優良企業であるということを対外的にアピールすることができます。
4	若者の採用・育成を支援する関係助成金を加算	若者の採用・育成を支援するため、認定企業が次の各種助成金を活用する際、一定額が加算されます。 ①キャリアアップ助成金 ②キャリア形成促進助成金 ③トライアル雇用奨励金 (裏面参照)



Q どのような企業が認定企業になることができますか？

A 裏面に記載されている認定基準を全て満たす中小企業（常時雇用する労働者が300人以下の事業主）であれば、認定企業となることができます。

Q 認定企業になるには、どうすればよいですか？

A 認定企業となるためには、各都道府県労働局へ申請が必要です。裏面の認定基準を満たしていることを確認した後、各都道府県労働局から認定通知書を交付します。

※申請書などの提出は、ハローワークを経由して行うことができます。
また、認定基準を満たしているかどうかを確認するための書類をご提出いただけます。
詳細は、各都道府県労働局へお問い合わせください。

<認定基準>

1	学卒求人※ ¹ など、若者対象の正社員※ ² の求人申込みまたは募集を行っていること
2	若者の採用や人材育成に積極的に取り組む企業であること
3	右の要件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> ・「人材育成方針」と「教育訓練計画」を策定していること ・直近3事業年度の新卒者などの正社員として就職した人の離職率が20%以下 ・前事業年度の正社員の月平均所定外労働時間が20時間以下または週労働時間が60時間以上の正社員の割合が5%以下 ・前事業年度の正社員の有給休暇の年平均取得率が70%以上または年平均取得日数が10日以上 ・直近3事業年度において、男性労働者の育児休業などの取得者が1人以上または女性労働者の育児休業等の取得率が75%以上※³
4	右の雇用情報項目について公表していること <ul style="list-style-type: none"> ・直近3事業年度の新卒者などの採用者数・離職者数★、男女別採用者数、35歳未満の採用者数・離職者数★ ・研修内容★、メンター制度の有無、自己啓発支援・キャリアコンサルティング制度・社内検定などの制度の有無とその内容、平均勤続年数、役員・管理職の女性割合 ・前事業年度の月平均の所定外労働時間★、有給休暇の平均取得日数★、育児休業の取得対象者数・取得者数（男女別）★
5	過去3年間に認定企業の取消を受けていないこと
6	過去3年間に認定基準を満たさなくなったことによって認定を辞退していないこと※ ⁴
7	過去3年間に新規学卒者の採用内定取消しを行っていないこと
8	過去1年間に事業主都合による解雇または退職勧奨を行っていないこと
9	暴力団関係事業主でないこと
10	風俗営業等関係事業主でないこと
11	各種助成金の不支給措置を受けていないこと
12	重大な労働関係等法令違反を行っていないこと

※1 大卒等求人については、「既卒3年以内の既卒者の応募可」であることが必要です。

※2 正社員とは、直接雇用であり、期間の定めがなく、社内の他の雇用形態の労働者（役員を除く）に比べて高い責任を負いながら業務に従事する労働者をいいます。

※3 男女ともに育児休業などの取得対象者がいない場合は、育休制度が定められていれば可とします。また、「くるみん認定」（子育てサポート企業として厚生労働省が定める一定の基準を満たした企業）を取得している企業については、くるみんの認定を受けた年度を含む3年度間はこの要件を不問とします。

※4 3、4の基準を満たさずに辞退した場合、再度基準を満たせば辞退の日から3年以内であっても再申請が可能です。

★ 3ページに説明

<若者の採用・育成を支援する関係助成金の加算措置について>

各助成金の詳細については、厚生労働省ホームページ「事業主の方のための雇用関係助成金」をご覧ください。

URL：http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/

雇用関係助成金 **検索**

1. キャリアアップ助成金

認定企業が35歳未満の有期契約労働者などを正規雇用などへ転換する場合、1人当たり最大50万円のところ、10万円を加算し60万円を支給する。

◆支給額は企業規模などにより異なる。また、「多様な正社員コース」を活用した場合も10万円の加算措置あり。

2. キャリア形成促進助成金

認定企業が「若年人材育成コース」（採用後5年以内の35歳未満の若年労働者に対して職業訓練を実施）を活用した場合、経費助成率を最大1/2から2/3に引き上げる。

◆助成率は企業規模などにより異なる。

3. トライアル雇用奨励金

認定企業が35歳未満の対象者に対しトライアル雇用を実施する場合、月額最大4万円のところ、5万円を支給する（最長3カ月間）。

<事業年度末に認定申請を行う事業主の方へ>

-ご注意-

認定に当たっては認定日における直近の事業年度で要件を満たしている必要があり、要件確認のため、事業年度終了後1カ月以内に確認書類を提出していただく必要があります。

また、事業年度が3月末の事業主の方が3月に認定を受けた場合、新事業年度が開始した4月に改めて確認書類の提出が必要となります。

認定申請に当たっては各企業の事業年度も勘案の上、申請を行っていただくようお願いします。

<認定マークについて>

右の認定マークは、「ユースエール認定企業」であることを表すマークです。マーク中の「〇〇年度認定」は、認定を受けた年度を表しています。

認定企業は、事業年度ごとに認定基準を満たしているかの確認を受けることになっているため、認定基準をいつから満たし続けている企業なのかマークから分かります。



<認定マーク>

Q 新設企業などこれから認定取得を目指している企業への措置はありますか？

A 若者雇用促進法に基づく認定基準（数値基準等）を満たしていないものの、若者の採用・育成に積極的な中小企業について、都道府県労働局、ハローワークが積極的にマッチング支援を行う事業として「若者応援宣言企業」という制度があります。

若者応援宣言企業になるためには、

- ①若者対象の正社員求人・募集を行っており、
- ②若者の採用・育成に積極的に取り組み、
- ③一定の労務管理体制の要件を満たし※1、
- ④通常の求人情報よりも詳細な企業情報・採用情報※2を公表することが必要です。

※1 前ページの認定基準のうち、5以降の基準を満たすことが必要です。

※2 前ページの認定基準のうち、4の★の情報を公表することが必要です。

Q 「若者応援宣言企業」になると、どんなメリットがありますか？

A 若者応援宣言企業になると、以下の支援を受けることができるようになり、企業のイメージアップや優秀な人材の確保などが期待されます。

1	若者の職場定着が期待	ハローワークに提出される通常の求人情報に比べて、より詳細な企業情報・採用情報を公表できます。これによって、御社の職場環境・雰囲気・業務内容がイメージしやすくなり、より適した人材の応募が見込まれ、採用後の職場定着が期待できます。
2	ハローワークなどで重点的PRを実施	厚生労働省が運営する、若者の採用・育成に積極的な企業などに関するポータルサイト「ユースエール認定企業・若者応援宣言企業検索システム」（4ページ参照）などに企業情報を掲載しますので、御社の魅力を広くアピールできます。
3	就職面接会などへの参加の機会が増加	就職面接会などの開催についてハローワークから積極的にご案内するので、若年求職者と接する機会が増え、より適した人材の採用が期待できます。
4	「若者応援宣言企業」の使用が可能	「若者応援宣言企業」の名称を使用し、若者の育成・採用に積極的であることを対外的にアピールすることができます。*

※「若者応援宣言企業」を宣言できる期間は原則、宣言した日が属する年度の末日までです。

継続して「若者応援宣言企業」を宣言する場合は、改めて求人などを提出し、宣言基準の確認を受けてください。

❗ 若者応援宣言企業は、ユースエール認定企業と違い、助成金の加算措置が受けられないほか、認定マークも使用することができません。

<「ユースエール認定企業・若者応援宣言企業検索システム」について>

全国のユースエール認定企業や若者応援宣言企業の情報を掲載しているサイトです。

個別企業ごとに企業概要、雇用管理の状況、求職者に向けたメッセージなどを掲載することで、積極的な企業情報の発信と若者とのマッチングを促進していきます。



「ユースエール認定企業・若者応援宣言企業検索システム」

URL : <https://www.wakamono-saiyou-ikusei.go.jp/search/service/top.action>

ユースエール認定企業・若者応援宣言企業検索システム **検索**

<企業情報（PRシート）例>

このような情報がユースエール認定企業・若者応援宣言企業検索システムなどに掲載されています。

ユースエール認定企業PRシート		写真1	写真2	写真3				
企業名	(フリガナ) カスミガセキセイサクショ 霞ヶ関製作所							
所在地	111-4111 千代田区霞ヶ関0-0-0							
事業内容	金属・非金属材料を用いて、自動車部品のプレス、溶接、組立、塗装及び金型器具の設計・試作の加工から量産までの一貫生産を行っています。							
従業員数	200	事業所番号	2522-3456789					
正社員の募集、定着状況	新卒者等 ※1			新卒者等以外(35歳未満)			社長や先輩職員からのメッセージ (先輩職員) 当社には若い人も多く、活気があります。社内はコミュニケーションが活発ですので、すぐに溶け込むことができると思います。分からないことがあれば丁寧に教えますので、何でも聞いて下さい！	
	募集状況 ※2	前年度	2年度前	3年度前	前年度	2年度前		3年度前
	採用者数	10	10	10	10	10		10
	定着者数	20	19	18	20	18		18
平均継続勤務年数	20.5 年	前年度の有給休暇の平均取得日数		10 日/年			求める人物像・選考基準	
前年度の育児休業の取得状況 ※3	(男性) 1 人 / 10 人 (女性) 20 人 / 20 人	前年度の月平均所定外労働時間		(月平均) 20.0 時間			福利厚生制度	
役員・管理職の女性割合	(役員) 20.0 %	(管理職) 20.0 %		各種社会保険完備、財形貯蓄制度、勤続表彰、単身用住宅			インターンシップ受入	
研修制度	新人研修(入社前研修、各職場でのOJT社内教育、教育機関での講習受講)、安全教育	職場見学・職場体験の受入		実施できる内容: 現場での実務研修			受入可能時期: 1月	
自己啓発支援制度	技能免許取得費用負担	出張講話の可否		実施できる内容: 会社概要の説明			受入可能時期: 12月	
キャリア・コンサルティング制度	キャリア・コンサルティング	非正規の職場情報 ※4		女性育児休業取得率50% 所定外労働時間実績5時間			受入人数: 20	
メンター制度	(有) (無) 社内検定制 社内認定制度(品質)	備考		求人番号			受入人数: 10	
企業HP	http://www.mhlw.go.jp/			求人番号			受入人数: 10	
企業採用ページ	http://www.mhlw.go.jp/			求人番号			受入人数: 10	

○事業所PRシートをご覧になった方へ！
この事業所PRシートは、35歳未満の方を対象とした内容(ユースエール認定企業)となっております。予めご了承下さい。
○事業所番号、求人番号はハローワークで求人を受理した際に記載されます。なお、既に充足している場合、求人番号が空欄になるかリンク先においてその旨表示されます。

※1 新規学校卒業者及び既卒3年以内の者で新規学校卒業者と同等の処遇を行う正社員に就職した者。
※2 正社員の募集を行った年度に○を付している。
※3 直近の3事業年度の取得実績について記載。【男性】育児休業等の取得者数/配偶者が出産した男性労働者の数【女性】期間内の取得者数/出産した労働者数(対象者なしの場合は「—」)。
※4 非正規労働者の採用状況、有給休暇取得状況、所定外労働時間実績等についての自由記述欄。

詳しくは、都道府県労働局、ハローワークへお問い合わせください。

報告事項

機関名：新潟大学

件名

工学部建設学科 1 年生対象講義「社会基盤工学概論」における「社会基盤工学分野で働く女性技術者による座談会

要旨

工学部建設学科の 1 年生を対象とした講義「社会基盤工学概論」の 1 コマを使い、「社会基盤工学分野で働く女性技術者による座談会」を企画・実施した。本講義は、社会基盤工学分野における「女性技術者」に焦点を当て、「社会基盤工学コースを卒業した際のキャリアパスの提示」や「女性技術者から見た社会基盤」に関して、公官庁、民間にお勤めの女性技術者から実際にお話をいただき、社会基盤工学コースにおける教育・研究の意義と社会への還元、社会基盤工学分野の重要性について、学部 1 年生が学習することを目的としたものである。

講義の内容としては、上記内容の趣旨説明の後、4 名の女性技術者の方々には、主に、土木コース、土木業界に入ったきっかけや、現在の仕事内容、大学での生活・学習・研究内容、大学での教育・研究が現在の仕事にどのように役立っているか、最後に土木の魅力、仕事への情熱、また土木の魅力、仕事への情熱についてご講演をいただいた。最後に討論会を行い、一番楽しかった仕事内容や、福利厚生面の現状、女性から見た土木分野の改善点等についてディスカッションを行った。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：新潟県立新潟工業高等学校

件名

県立新潟工業高校のキャリア教育の取組

要旨

①別紙を参照して下さい。

科	学年	人数	企業名	期間	日数
建築科(建築コース)	2	1	山崎建築	7/25~8/5	10
	3	2			
	2	3	(株)加賀田組	7/27~8/7	10

H27年度 インターンシップ

科	学年	人数	企業名	期間	日数
土木科	2	2	建設業協会	7/9~7/10	2
		2	(株)福田組		
		2	(株)加賀田組		
		2	(株)新潟藤田組		
	2	2	(株)近藤組	7/9~7/10	2
		2	測量設計業協会		
		2	(株)新栄技術		
		1	恒陽測量(株)		
	2	1	(株)ナルサワコンサルタント	7/9~7/10	2
		1	信広技術(株)		
		2	道路建設業協会		
		2	(株)加賀田組		
	2	2	福田道路(株)	7/9~7/10	2
		2	本間道路(株)		
		1	建設コンサルタント協会		
		2	エヌシーイー(株)		
	2	2	開発技建(株)	7/9~7/10	2
		1	(株)キタック		
		2	(株)ナルサワコンサルタント		
		2	新潟市土木部		
2	3	西部地域土木事務所	7/9~7/10	2	
	1	新潟市下水道部			
	1	東部地域下水道事務所			
	1	下水道管理センター			
2	1	西部地域下水道事務所	7/9~7/10	2	
	2	北陸地方整備局			
	2	新潟国道事務所			
	2	阿賀野川河川事務所			
3	2	新潟港湾・空港整備事務所	7/9~7/10	2	
	2	阿賀野川河川事務所			
建築科(建築設備コース)	2	4	(株)新潟日立	8/5~8/6	2
	2	4	新潟企業(株)	8/7~8/8	2
	2	4	ダイタン(株)新潟支店	8/4~8/5	2
	2	5	興洋管建(株)	8/4~8/5	2
	2	5	(株)ナカムラ	8/5~8/6	2
	2	4	千代田設備(株)	8/5~8/6	2

H27年度 ものづくり技能・技術の伝承事業

科	学年	人数	企業名	期間	時間
土木科	3	5	(株)シーキューブ	9/29・11/10	4H
建築科(建築コース)	3	38	(一社)新潟県建築士会	4/30	2H
建築科(建築設備コース)	2	39	小池設備	2月or3月	2H

H27年度 課題研究

科	学年	人数	企業名	期間	時間
土木科	3	5	(株)シーキューブ	4/28・6/16 6/23・9/1 9/29・11/10 12/22・1/8	16H
建築科(建築コース)	3	8	(株)福田組	5/28 11/5	3H 3H
建築科(建築設備コース)	3	6	新潟県立大学 教授 坂口 淳	6./22 11/16	3H 3H

H27年度 若年技能者人材育成支援事業 実技指導会

科	学年	人数	企業名	期間	時間
建築科(建築コース) 技能検定(建築大工2級)	2・3	4	ものづくりマイスター (有)諸橋建築 落合 忠司	11/7 12/19 12/25	6H 6H 3H
建築科(建築設備コース) 技能検定(建築配管2・3級)	1・3	29	ものづくりマイスター (株)千代田設備 沢口幸栄	11/5・12 12/7・14 1/21・28	6H 6H 6H
建築科(建築設備コース) 技能検定(冷凍空気調和 機器施工2・3級)	1・3	17	ものづくりマイスター 新潟機器(株) 白井孝一	11/5・12 12/7・14 1/21・28	6H 6H 6H

H27年度 工場見学

科	学年	人数	企業名	月日
土木科	1	40	NEXCO東日本 木津トンネル現場見学	7/17 9:30～15:20
	1	40	山の下閘門排水機場及び 通船川工事現場	10/28 9:00～12:00
	2	38	消融雪製品の製造工程の見学 消雪用井戸の掘削機械の見学	10/22 8:50～15:30
	2	38	ござれや阿賀橋見学	10/15 11:00～14:35
	3	39	栗ノ木雨水・地表工事見学 阿賀野バイパス工事見学	10/16 9:00～14:50
	保護者	13	六郷堤防駿東対策工事見学 小松地区堤防見学 吉津トンネル見学 北陸地方整備局防災施設見学 意見交換会	10/31 10:00～16:00
建築科(建築コース)	2	39	新潟市消防局・ 中央消防署庁舎建築工事現場	6/25 10:30～11:30
	3	38	新潟木戸中学校改築工事現場	6/18 12:30～15:30
建築科(建築設備コース)	1	40	白根水道町ポンプ場建設工事現場	11/6 13:05～15:30
	2	39	新潟市中部下水処理場	12/14 9:00～12:30
	3	41	日報メディアシップ施設設備見学	12/3 13:00～15:00

報告事項

機関名：新潟県教育庁高等学校教育課

件名

平成 27 年度県立専門高校メッセについて（報告事項）

要旨

- ・平成 27 年 8 月 11 日(火)に、昨年と同じ「シティホールプラザ アオーレ長岡」を会場に、長岡市教育委員会との共催で開催しました。
- ・参加人数は 2,485 人と、過去最高でした。
- ・参加した学校、企業等の数は、合計 147 でした。
- ・参加後のアンケートでは、中学生の 97.4%が「参考になった」「やや参考になった」、高校生の 99.4%が自校の魅力や特色を「再認識できた」「やや再認識できた」と答えていました。

※ 別紙資料参照

別紙資料

平成27年度 県立専門高校メッセ開催要項

1 目的

- (1) 中学生が専門高校や専門学科に対する理解を深める機会とし、中学生の進路選択の一助とする。
- (2) 専門学科の高校生が、自校の魅力や内容を再確認する機会とし、自校の特色をPRする活動を通して学校の活性化に寄与する。
- (3) 中学生が高校卒業後や、大学等卒業後を見据えた将来について考える機会とする。

2 開催期日 平成27年8月11日(火)

3 会場 シティホールプラザ アオーレ長岡
(長岡市大手通1丁目4番地10)

4 主催 新潟県教育委員会

5 共催 長岡市教育委員会

6 参加高校 農業科・工業科・商業科・水産科・家庭科・その他の専門学科及び総合学科を設置する県立高等学校

学科	学 校 名
農業	加茂農林 新発田農業 長岡農業 高田農業
工業	新潟工業 新津工業 新発田南 長岡工業 新潟県央工業 柏崎工業 塩沢商工 上越総合技術
商業	新潟商業 新発田商業 長岡商業 三条商業 塩沢商工 高田商業
家庭	新潟中央 長岡大手 高田北城
総合	巻総合 五泉 村上桜ヶ丘 十日町総合 柏崎総合 栃尾 小千谷西 佐渡総合
その他	海洋 八海

なお、長岡市共催により、上記の高等学校のほか、長岡市を中心とした普通高校や私立高校も参加します。

7 内容

- (1) アリーナ、ナカドマ、市民交流ホールA
 - ①開会式、農業・工業・商業の専門学科紹介
 - ②学校紹介(ブース演示)
高校生による自校の特色ある学習内容の紹介、作品展示、実習体験等
- (2) 市民交流ホールB、C、D
 - ①県内大学による大学案内及び県内専門学校による学校案内
 - ②ものづくり技術の紹介等による県内産業紹介、就労に関する啓発

8 開催日程

9:40~10:00	午前の部 受付	13:10~13:30	午後の部 受付
10:00~10:40	開会式・学科紹介	13:30~14:10	開会式・学科紹介
10:40~12:30	ブース演示	14:10~16:00	ブース演示

(補足)

- ・午前の部、午後の部は同じ内容となります。
- ・ブース演示の時間帯に、市民交流ホールAで部活動等の活動発表もあります。

平成27年度県立専門高校メッセ 報告

期日：平成27年8月11日

会場：ながおかシティホール アオーレ長岡

参加人数： 2485人

(中学生1347、保護者・引率437、一般59、高校生382、高校教員等216、
大学企業44)



アンケート結果

中学生 Q. 専門高校メッセに参加された感想をお聞かせください

- | | |
|-----------------------------|-------|
| a. 将来の進路を考える上で、参考になった | 78.2% |
| b. 将来の進路を考える上で、やや参考になった | 19.2% |
| c. 将来の進路を考える上で、あまり参考にならなかった | 1.7% |
| d. 将来の進路を考える上で、参考にならなかった | 0.4% |

保護者等 Q. 専門高校メッセに参加された感想をお聞かせください

- | | |
|-------------------------------|-----|
| a. 将来の進路を考えさせる上で、参考になった | 68% |
| b. 将来の進路を考えさせる上で、やや参考になった | 30% |
| c. 将来の進路を考えさせる上で、あまり参考にならなかった | 2% |
| d. 将来の進路を考えさせる上で、参考にならなかった | 0% |

高校生 Q. 専門高校メッセに参加して、自校の魅力や特色を再認識できましたか

- | | |
|--------------|-------|
| a. 再認識できた | 69.8% |
| b. 少し再認識できた | 29.6% |
| c. 再認識できなかった | 0.6% |

平成27年度 県立専門高校メッセ

業務完了報告書

平成27年8月17日

 株式会社 新宣

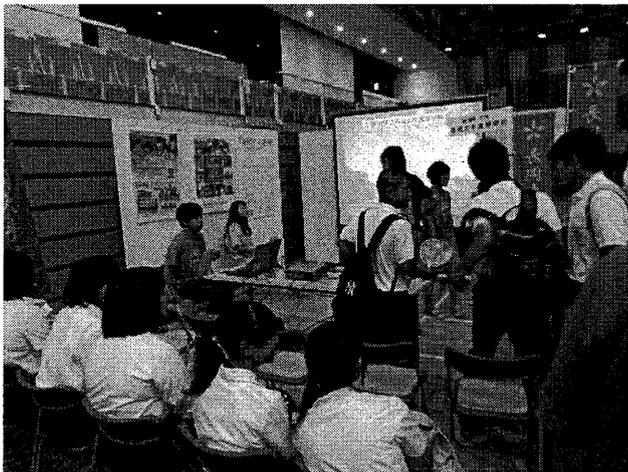


記録写真

○アリーナ



○普通科



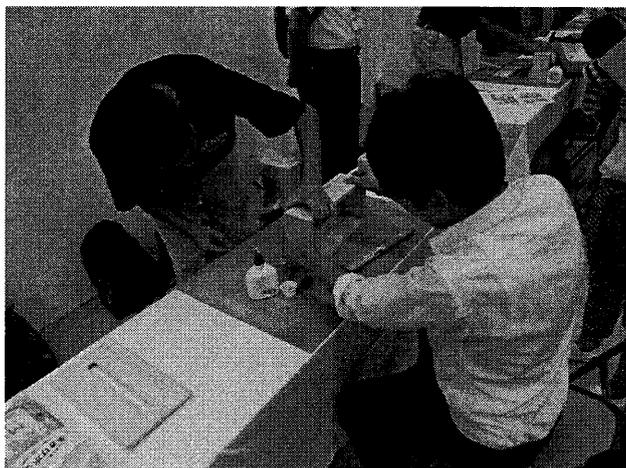
○体育科



○家庭科



○工業科



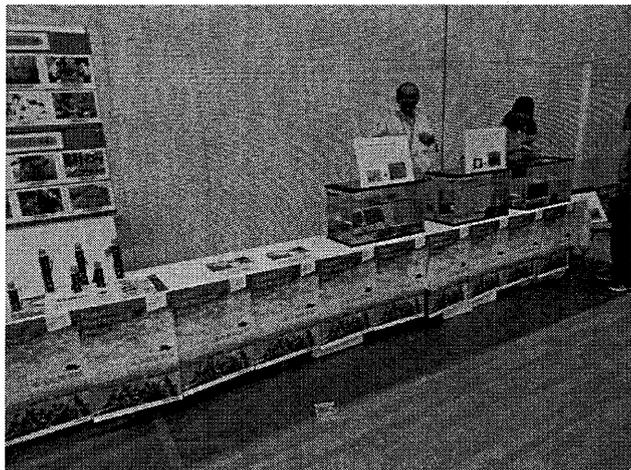
○総合科



○農業科



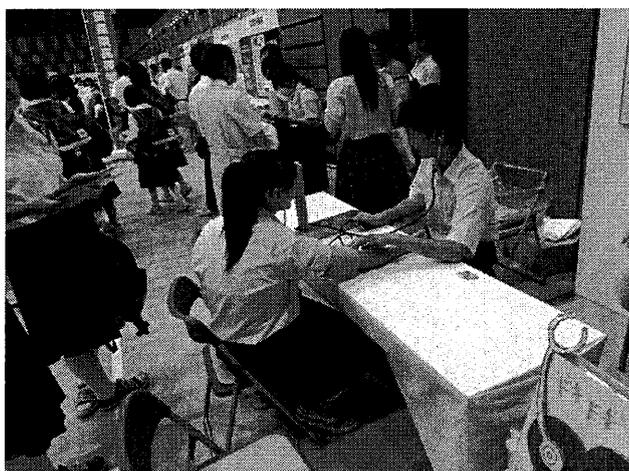
○水産科



○商業科



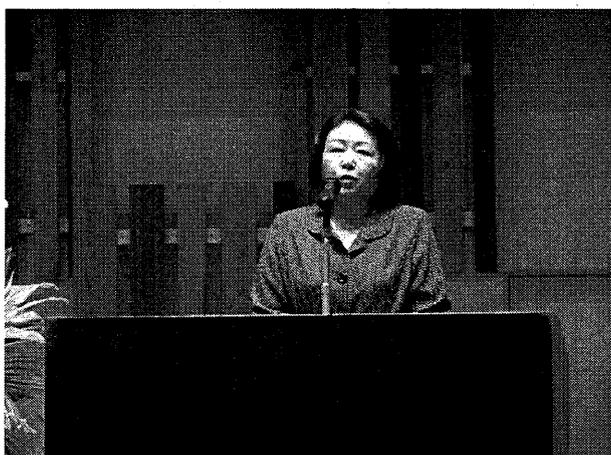
○看護科



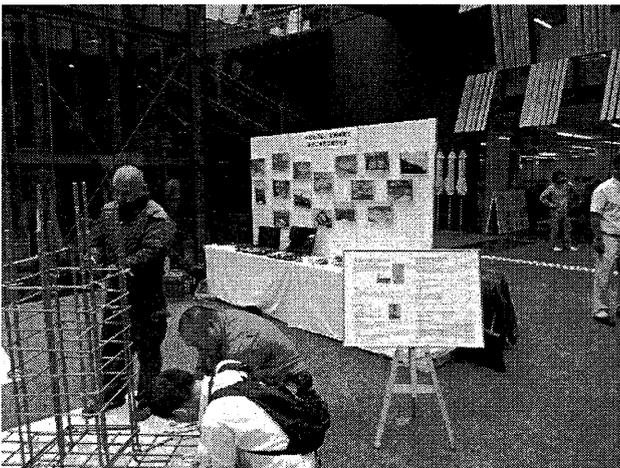
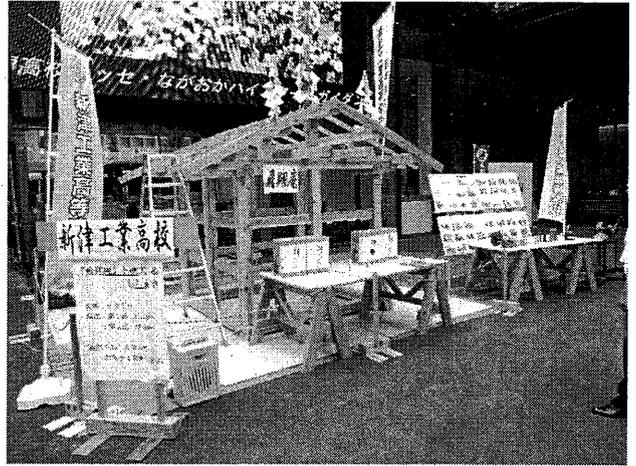
○長岡市立高等総合支援学校



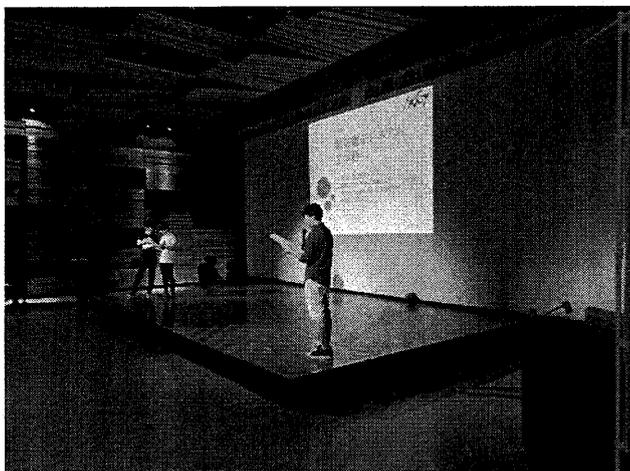
○ステージ



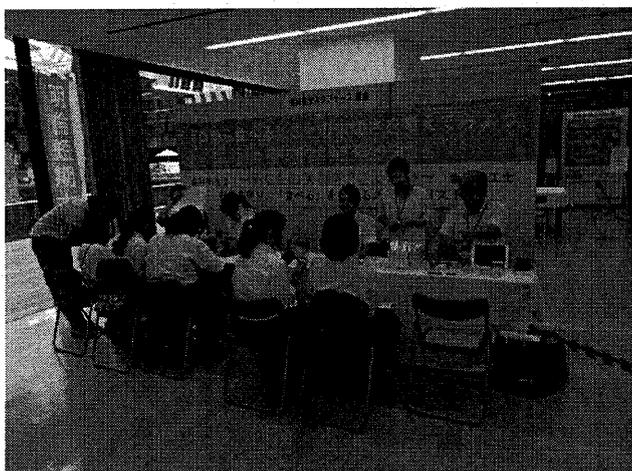
○ナカドマ



○交流ホールA



○交流ホールB・C



○交流ホールD



報 告 事 項

団体名：一般社団法人 新潟県測量設計業協会

件名

測量特番「ふるさとを守り、未来を創る ～測量士の仕事と役割～」のテレビ放映及び活用について

要旨

- テレビ放送番組として、測量特番「ふるさとを守り、未来を創る ～測量士の仕事と役割～」と題した20分番組を制作し、平成27年11月28日に放映しました。
- 番組内容は別紙のとおりであり、現在、協会ホームページに掲載して測量設計業の魅力を広くアピールしているところです。
- また、動画DVDを無償で貸し出しており、教育関係者の皆様からキャリア教育や就職活動等の教材として使用していただくなど、将来の担い手の確保・育成に繋がるよう活用を図っていきたいと考えています。

(一社)新潟県測量設計業協会 お知らせ

測量特番 ふるさとを守り、未来を創る ～測量士の仕事と役割～



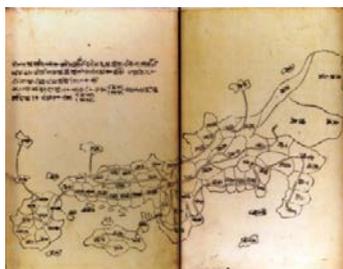
測量業に携わる若者や測量士を目指している生徒などのインタビューを交えながら、地図の歴史、測量の仕事と役割、最新技術、測量士資格取得等をわかりやすく紹介します。

動画を(一社)新潟県測量設計業協会ホームページ【<http://www.shinsoku.org/>】でご覧ください。

道路や河川、そして建物など、どんな建築物も“測量がはじめての一步”



私たちの生活に欠かせない地図。「行基図」「伊能図」を通して地図の由来を紹介



日本で最も古い地図は、奈良時代に僧侶・行基が作ったと言われている「行基図」です。(筑波大学附属図書館 所蔵)



伊能忠敬像



大図佐渡

江戸時代に日本国中を測量して回り、初めて実測による日本地図を完成させたのが伊能忠敬です。その地図は極めて精度が高く、明治以降国内の基本地図の一翼を担いました。

(伊能忠敬記念館 所蔵)

皆さんは、ご覧のような測量をしている姿を見たことがありますか。



測量の現場では、いろいろな測量機器を使って、土地の距離・角度・高低差などを正確に測って土地の形状を表す「地形図」を作成します。



この「地形図」をもとに、その環境条件・地形条件に相応しい構造を考え、デザインをする設計作業では、パソコンなどを使って「設計図」を作成します。

ここまでの、測量設計業の仕事です。

測量は「豊かで快適な暮らし」と「安全・安心な暮らし」を支える大切な仕事



測量の仕事に携わっている若者、災害復旧を担当した測量技術者にインタビュー

□ 測量に携わっている若者たちにインタビュー



- ・測量の仕事のやりがいは…
- ・測量の仕事に就こうと思ったきっかけは…
- ・測量の仕事を目指す女性に…

□ 災害復旧を担当した測量技術者の体験談



中越大震災



新潟福島豪雨災害

最新の測量技術を紹介



MMS



UAV



深浅測量

高等学校、専門学校で測量技術を学んでいる生徒たち

- インターンシップ、高校生ものづくりコンテストで活躍している高校生たち



インターンシップ



ものづくりコンテスト全国大会



- 新潟工科専門学校で測量のスペシャリストを目指す生徒たちにインタビュー



測量士及び測量士補になるには ～ 国家資格取得の紹介 ～



- 国家試験に合格して資格を取得



- 上記以外にも、新潟工科専門学校のような認定された学校を卒業すると測量士補の資格が与えられます。その後2年間、測量の実務経験を積むことで国家試験が免除され、測量士の資格を取得できます。

測量の現場で活躍する若者からのメッセージ

□ 専門学校を卒業して入社2年目。現在、深淺測量を担当



- ・測量の仕事で大切なことは…
- ・測量の仕事の魅力は…
- ・どんな測量士になりたいか…

□ 高校を卒業して1年目の新人社員。応用測量・土木設計補助を担当



- ・測量にどんなイメージを持っていたか…
- ・測量の仕事に就こうと思ったきっかけは…
- ・実際に測量の仕事してみても…
- ・測量の仕事を目指す女性にメッセージを…

自然豊かなふるさとの大地を守り、美しい未来を創る。あなたも、測量士を目指し、一緒に明るい未来を創っていきませんか！！

一般社団法人 新潟県測量設計業協会
(平成27年10月1日現在)

会 員	100社
下越地区	47社
中越地区	33社
上越地区	20社

～自然豊かなふるさとの大地を守り、美しい未来を創る～



画像提供：NST

収録時間：20分

動画DVDを無償でお貸しいたします。詳しくは当協会事務局までお問い合わせください。

【連絡先】

一般社団法人 新潟県測量設計業協会 事務局

TEL:025-267-1110

E-mail:shinsoku2@vanilla.ocn.ne.jp

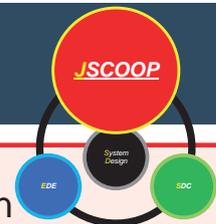
FAX:025-233-2750

報告事項

機関名：長岡工業高等専門学校

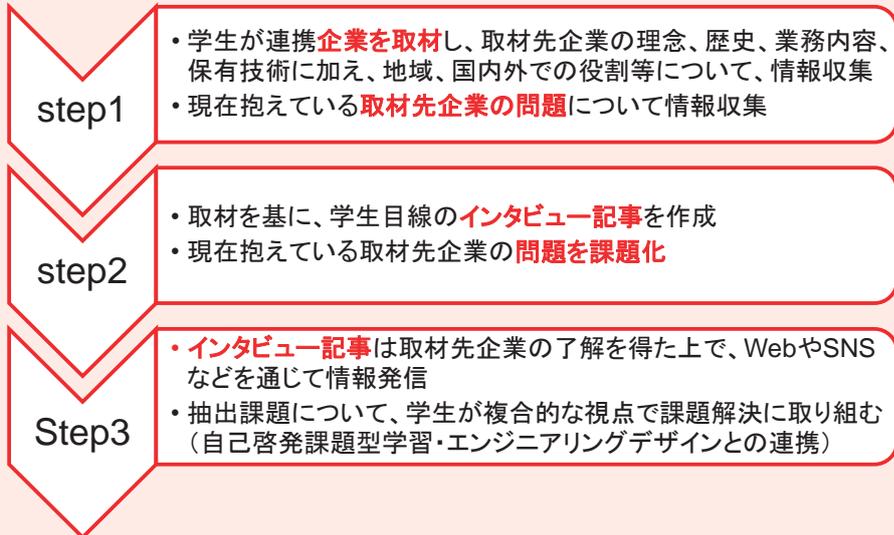
<p>件名</p> <p>JSCOOP (Job Search for local companies based Cooperative education)</p>
<p>要旨</p> <p>JSCOOP (Job Search for local companies based Cooperative education) は、地域産業界と連携して、課題抽出力、課題解決力を備えたイノベーション人材の育成を目的とした実践的教育科目である。</p> <p>JSCOOP の中で学生が取り組むミッションは2つある。一つ目は、県内の協力企業を対象として、歴史、保有技術などを十分に把握した上で、当該企業に所属する専門技術者に対して行う取材である。取材活動を通じて自らのキャリアを継続的にデザインする能力を身につける。また、取材で得た企業情報を基に、対象者によらず当該企業を理解できる PR 記事を作成し、専門分野での情報収集や情報発信能力を身につける。二つ目は、取材活動を通じて、現在企業が抱えている問題の課題化と、その解決策の提案である (資料 1・2 参照)。</p> <p>JSCOOP の本格的な運用は 2017 年度の予定であり、本科 5 年生、専攻科 1, 2 年生が立場を変えながら、上記 2 つのミッションに取り組む。本科 5 年は主に、協力企業への取材活動全般を担当する。専攻科 1 年生は、本科 5 年の取材活動の指導を担うとともに、企業から抽出した問題を課題化し、その対策を考えるチームのコアとなる。専攻科 2 年生は、本科 5 年生、専攻科 1 年生の指導に加えて行動の評価を行う。</p> <p>平成 27 年度は、専攻科 1, 2 年生がいないことから、教員が指導・評価 (専攻科 1 年・2 年) の部分を担当し、JSCOOP を実施した。現状の受講人数は 12 名であり、その内訳は、機械工学科 5 名、電子制御工学科 5 名、環境都市工学科 2 名である。県内協力企業数は 5 社であり、すべて建設関連業に携わる県内企業である。</p> <p>夏季休業中の 1 日ないし 2 日間、県内協力企業に学生が数人のグループで訪問し、取材活動を実施するとともに、実際の現場に出向き、リアルタイムで問題となっていることを抽出した。</p> <p>取材を実施する前に企業担当者と取材方針および PR 原稿のデザインを確認し、取材当日までに合意形成を図った。企業側には、出来るだけ学生の取材方針に即した取材活動が展開できるように、事前に社内調整を行って頂いた。当日は、学生の取材活動に即した取材活動が概ね実行できた。また、現状企業が抱えている様々な問題を実際の現場を視察しながら説明を受けたため、学生も問題把握がスムーズにできたと思われる。現在各協力企業の PR 原稿は作成済みであり、年度末に抽出した問題を課題化し、解決策を協力企業に提案する予定である。</p> <p>JSCOOP は先に述べたように、課題解決と PR 原稿の作成の 2 本柱で構成された教育プログラムであるが、後者の PR 原稿は、学生が主体となって地元企業に訪問するため、従来のインターシップに比べて学生のモチベーションは高い。2016 年度は協力企業数を増やし、低学年への水平展開を計画している。</p> <p>2015 年度協力企業 (5 社) エヌシーイー株式会社、株式会社大石組、株式会社 笠原建設、株式会社 キムラ、株式会社 ダイアテック (五十音順)</p>

Jscopeとは？



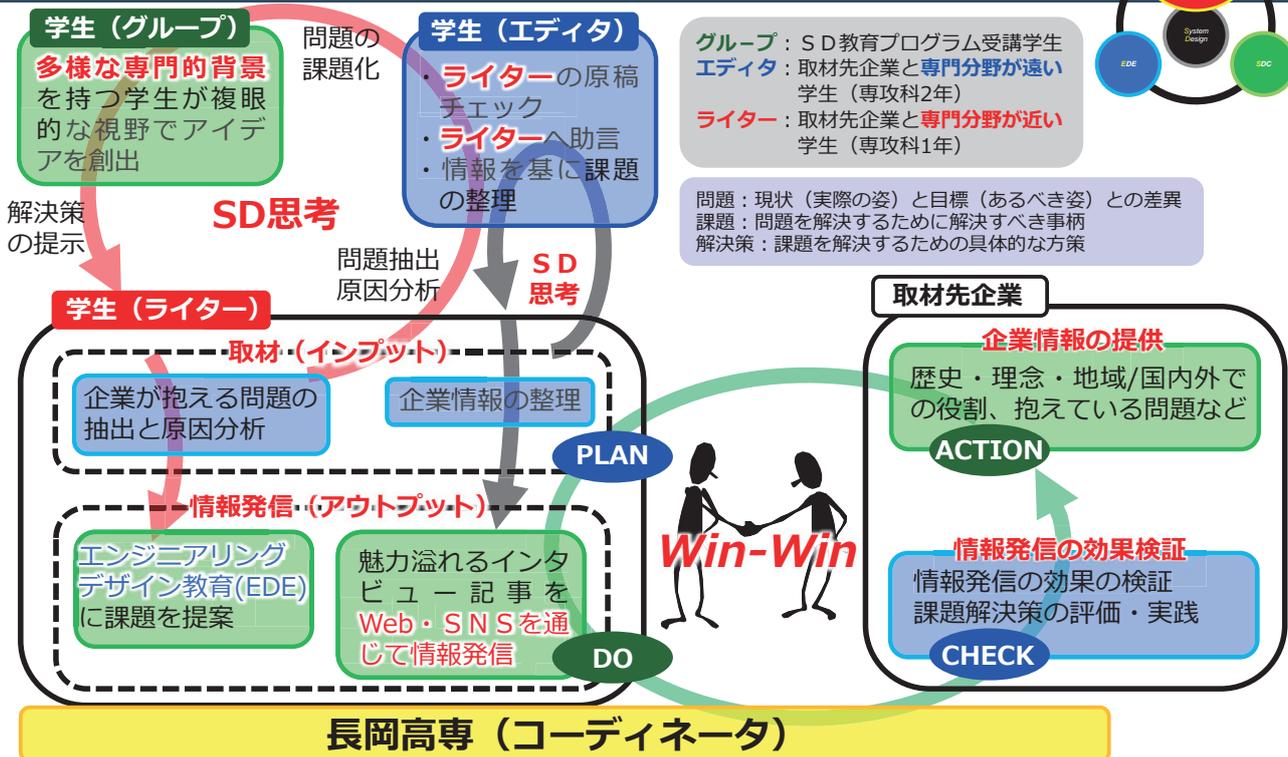
Job Search for local companies based Cooperative education

地域産業界と連携して、課題抽出力、課題解決力を備えた**地産地消型人材**を育成するアウトプット型の教育プログラム



Jscopeのミッション

- ① 企業の**魅力**を世界へ**発信**
- ② 企業で抱える**問題**を**解決**



議題及び報告事項（※自由様式）

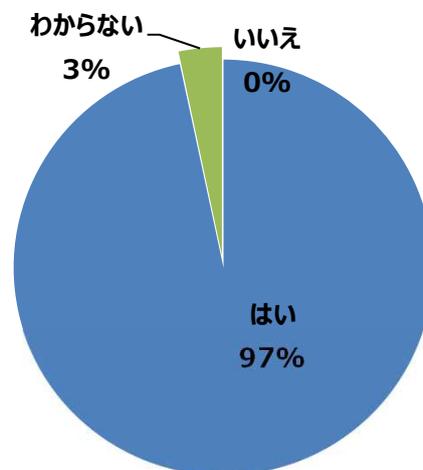
事務所名：信濃川下流河川事務所

<p>件名 現場見学後のアンケート調査について</p>
<p>要旨</p> <p>新潟県立加茂農林高校にあつては、現2年生（30名）に対し昨年度末及び本年度と工事進捗にあわせて2回同一現場を見学いただいたところであり、その後アンケートを行った。集計結果は別添のとおり。</p> <p>（参考1：アンケート設問）</p> <p>設問1 今回の見学会で、建設業界に対し魅力を感じましたか？その理由とあわせて教えてください。（選択項目：はい、いいえ、わからない）</p> <p>設問2 今回の見学会は、あなたにとって何か参考になるものでしたか？どんなことに参考になったかあわせて教えてください。（選択項目：はい、いいえ、わからない）</p> <p>設問3 今回の見学会でよかったと思う点や悪かった、あるいは改善した方がよいと思われる点を教えてください。</p> <p>設問4 こんな見学会などがあつたらいいな、ということがあればお教えてください。</p> <p>（参考2：見学会内容）</p> <p>H27.3.31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業説明 ・ UAV 測量実演 ・ 卒業生（一年目建設会社社員・ベテラン国交省職員） ・ MG データ作成 <p>H27.7.15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場概要説明 ・ 現場での取組（熱中症対策・過積載防止・粉塵対策） ・ MC バックホウ実演 ・ 工事測量体験（TS）

◆**今回の見学会で、建設業界に対し魅力を感じましたか？その理由とあわせて教えてください。**

【理由】

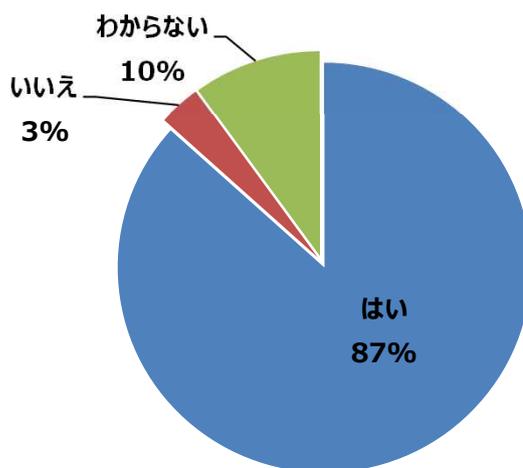
- ・M Cバックホウ、スパッツを見れた。
- ・**建設業界に様々なところで最新技術が導入されている**から
- ・作業の効率化が進んでいることに驚いた
- ・子供の頃B Hに乗りたい夢があって、実際に見れたから
- ・**コミュニケーションをとりあいながらの仕事が楽しそう**と思った
- ・重機や測量機器が自動化しているから
- ・大きな機械を動かしていること
- ・分かりやすく説明してくれたため
- ・**自分のイメージと違ってとても技術が発達していた**から
- ・機械だけで測量ができることが魅力的
- ・1つ1つの作業工程には全てに意味があるということ
- ・**建設業界に女性も必要とされていることを知ることができた**から
- ・大変な仕事だが、**完了したときの達成感がとても大きい仕事**だと思った
- ・普段見れない作業を見ることができたから
- ・授業で習ったことを使えるから
- ・これからも大切になってくるということが（説明を聞いて）伝わったから
- ・まだわからない部分が多かった



◆**今回の見学会は、あなたにとって何か参考になるものでしたか？どんなことに参考になったかあわせて教えてください。**

【どんなことが参考になったか】

- ・現場での動き方・必要なこと
- ・情報化が新しい目線を与えてくれた
- ・測量も器械が自動でできること
- ・仕事の大変さ
- ・いろいろな熱中症対策があるということ
- ・建設業界もいいなと思った
- ・**将来について深く考えるようになった**
- ・コミュニケーションをとるとのこと
- ・授業で習ったことが出てきたこと
- ・資格を取った方がいいということ
- ・入社時の体験談はこれからの学校生活に活かそう
- ・**自分たちの年齢に近い先輩の体験談**
- ・**高校でどんなことをしておくべきかを聞いて、将来に向けての準備に参考**になった



◆今回の見学会で良かったと思う点や悪かった、あるいは改善点した方がよいと思われる点を教えてください。

【よかった点】

- ・説明がわかりやすかった
- ・**前回よりも理解ができた**
- ・実際に稼働しているところを見せて説明してくれたところ
- ・**見学項目が多かったこと**
- ・間近で見学できたこと
- ・**入社2年目の先輩の体験談を聞いたこと**
- ・笑顔
- ・実働しているところを見て、説明で聞いた意味がよく理解できたこと
- ・**自分たちへの配慮（熱中症対策グッズを配ってくれたり）**



【悪かった・改善した方がいい点】

- ・**周りの音で説明が聞こえない**時があった
- ・B Hの説明の際、**初めて聞く話ばかりだったのに省略してお話されていて、最初の方、理解に苦しみました**
- ・重機の説明の資料もあった方がさらにわかりやすいと思います。

◆こんな見学会などがあったらいいな、ということがあれば教えてください。

- ・実際に**自分たちも体験しながら学べる**ようなもの
- ・**国交省の見学**
- ・機械に乗れる見学会



提案議題

事務所名：北陸地方整備局

件名

建設界の役割や仕事の魅力を効果的に伝えるためのポイントについて

要旨

各機関・団体において現場見学会、インターンシップ等、建設界の役割や、仕事の魅力について、学生等に伝わるよう取り組んでいるところであるが、学生、生徒、児童、一般など、活動の対象毎に工夫すべき点など、異なるものとする。

各教育機関において、各機関・団体の活動に対し、より効果的に建設界の魅力や役割を学生等に伝えるために求める点等あればお教え頂きたい。

また、今年度の活動において、多くの活動で各機関・団体に連携して行われているが、連携する上での問題点や、より連携して行うべき活動があればご意見頂きたい。

議題

機関名・団体名：(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部

件名
「北陸建設界の担い手確保・育成協議会」として連携した広報活動について
要旨
<p>各機関等において、PR 冊子、PR 動画等を作成し、様々な PR 活動を独自で展開しているのが実態です。</p> <p>「北陸建設界」として、より効果のある広報活動を展開する観点から、次の連携した活動を提案したいと考えております。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 協議会事務局ホームページに、建設界の PR 冊子・動画の一括掲載について<ul style="list-style-type: none">・現在、協議会 HP には、構成機関の HP のアドレスが掲載されていることから、各機関の HP から制作された PR 冊子や動画を閲覧することができますが、協議会 HP 内において、建設業界の事業ごとに PR 冊子や動画を一堂に掲載することによって、建設事業全体について、より理解促進が図られるものと思料します。・各構成機関から、掲載を希望する PR 冊子や動画のデータや URL を協議会事務局へ報告し、協議会事務局で事業ごとに一括して掲載する方法が考えられます。2. 協議会として、マスコミと連携したセミナーの開催について<ul style="list-style-type: none">・地元一般紙と連携し、企画時の広報から集客広報、更に、開催結果の広報までを委託し、高校生や大学生、保護者や学校の先生を対象とした「北陸建設界の仕事と魅力の紹介セミナー」(仮称)開催を提案したいと考えております。・セミナー開催に要する費用は、企画・実施・広報に係る費用を含め約 2～3 百万円が考えられます。(開催規模によっては支出費用を抑えることも可能)・その費用については、協議会各機関で負担するものとします。・セミナー開催に際し、企業説明会も併せて開催し、参加企業からも応分の負担をしていただくことも考えられます。3. 全国の大学生に対して協議会の取り組みを積極的情報発信することについて<ul style="list-style-type: none">・企業に人材と出会いを提供する情報サービス専門業者と提携し、日本全国の登録大学生の中から、北陸出身、北陸に就職を希望している大学生に対して、前述の協議会イベント等の紹介と併せて「建設界の魅力」などを当該学生に直接メール配信することを提案したいと考えております。・配信する費用としては、新潟県及び富山県・石川県内に該当する学生に対して 1 回配信するために約 40 万円が必要となります。・その費用については、協議会各機関で負担するものとします